六月一日發行
發行人 鈴木 昇
編輯人 橋本 喜代治
印刷人 本村 武盛
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社 滿洲日報社

御差遣の秩父宮殿下 皇太后陛下に御暇乞

あす午後東京を御出發

【東京にて島田特派員一日發】新興滿洲國の帝制宣布、康德皇帝御即位御慶祝のため御差遣の秩父宮殿下にはいよ〳〵二日午後六時四十分東京驛御發車、晴の壯途に上らせられ滿洲國に向はせらるゝことゝなつた、殿下には三十一日午後六時半から妃殿下御同伴、大宮御所に成らせられ、皇太后陛下にしばしの御暇乞ひを遊ばされたが、陛下には兩殿下と共に御晩餐を召され種々御懇談、殿下の重き御使命の上に種々御心遣ひあらせられ御旅路に御違なきやう御心添へ遊ばされたと漏れ承はる、かくて殿下には一日は種々御心忙しきなかを御平常通り參謀本部に御出勤あらせられ、正午には華族會館の記念式に臨ませられたが、二日は午後宮城及び大宮御所に御挨拶を遊ばされた後三陛下の勅使、御使の御見送りを受けさせられ午後六時二十分までに東京驛

滿洲事情を御研究

御精勵に側近者感激

【東京にて島田特派員一日發】御渡滿の御使命を帶びさせられて御かしき秩父宮殿下には御日常は極めて御忙しく渡らせられ、聖上陛下の御名代として御渡滿の御沙汰御受け遊ばされし後も、參謀本部には毎日御出勤御殿の御出まし後は毎日御勤務の御餘暇に御身の廻りの御整理から滿洲に關する軍事、外交、產業等各種の文獻を御調査遊ばされ、また關係者をお召しの上事情を御聽取、また滿洲語をお熱心に御研究遊ばされ御知識を廣めさせられる御模樣を拜し側近者は深く感激してゐる

海軍部御成次第

【駐滿海軍部發表】

【新京特電一日發】駐滿海軍部發表
秩父宮殿下六月七日駐滿海軍部御成の次第
一、殿下御着遊ばされるや司令官初め職員一同は玄關に、その他當部勤務者は玄關前庭に御迎へ申上げ司令官御先導階上の公室に御案內申上ぐ
二、殿下には公室において司令官に單獨拜謁を賜はり、次で會議室に御成遊ばされ當部勤務の判任官以上のもの一同に列立拜謁を賜る
三、次に殿下を公室に御案內申上げ司令官軍狀を奏上す
四、右終つて司令官の御先導にて玄關に御案內申上げ殿下は御退出遊ばされる、司令官以下一同玄關及び玄關前に整列御見送り申上ぐ

相馬式部官

けふ下關に先行

【東京特電一日發】宮殿下隨員の相馬式部官は式部職を代表して一日午後二時東京驛發列車にて下關に先行し、殿下御乘艦その他に關する準備を申上げることゝなつた

御着、各宮殿下をはじめ奉り文武百官の奉送裡に御出發あらせらるゝ御豫定と承はる

お召列車下檢分……けふ九時林總裁が

微妙な政局に投げた 坂野聲明の波紋

海軍首腦部是正聲明か

【東京特電一日發】海軍中央部の意見を代表するものとして三十一日軍事普及部委員長坂野少將が、海軍は宇垣內閣に反對の意思を有してゐないと言明したことは海軍最高首腦部は全く關知しない聲明であり、政局極めて微妙なるこの際、殊に海軍部內においても一部では宇垣內閣反對の意見が相當強硬に行はれてゐる折柄とて賛否兩論が俄然表面化し遂には軍の統制上面白からざる影響を見んとする形勢にある、最高首腦部では坂野委員長の聲明は用語の不備もあり、宇垣總督入京の日に態々斯る聲明をなし、殊更宇垣內閣と特に名前を掲げたこと等は全く輕率であると極度に憂慮し、坂野聲明を是正する樣な補足的聲明を出すものと見られてゐる、殊に坂野委員長が五・一五事件及び軍人政治關與問題にまで言及したことに對しては、部內に喧囂たる論議を捲き起し、來るべき重大國際危局を控へて成立せんとする次期內閣は當然海軍の主張を實行し得る強力なるものを必要とし次期政權の移動について關心を持つてゐるのは當然であるとの意見を抱いてゐる、更にこの聲明が今後對陸軍との間に面白からざる事態を惹起するのではないかと憂慮してゐるから、この點に關しても海軍最高首腦部の意見を奪達して諒解を求めることゝなる模樣である

通車問題解決辦法 六月中旬正式公表

反對策動は漸く下火

【上海特電三十一日發】黃郛氏は一日有吉公使を訪問し北支問題に對するわが政府の意見を聽取の上數日中に北上するに決した、通車問題は六月中旬正式に解決辦法を公表するに決定してゐるが、一般の輿論は時局安定のためには速かに解決をはかる外なしとの意見に傾き反對派の策動も漸次下火となりつゝある、なほ唐外交次長は黃郛氏に對し北支問題に對する汪精衛氏の訓令及び中央政治會議通過通車解決案を報告した

政變は今月中旬頃か

【東京特電一日發】大藏省事件はその後調査漸次進捗して居り小山法相から中間報告をなす時期も左して遠くあるまいと見られるに至つた、即ち事件の全貌が判明するのは遲くも今月中旬との目安がついて居るので、小山法相は兼ての打合に基き直に閣議席上か又は首相、藏相、內相に對し中間報告並に事件の進展性を說明するであらう、よつて齋藤首相としては右法相の報告に接し次第直に高橋、山本兩長老閣僚と相計り政府の善後策を決定する建前にあり各方面ともこの時こそ齋藤內閣の進退が決せられ政局に大變動が招來されるものと觀測して居る

貴院の觀測

【東京一日發國通】貴族院側は左の如き觀測を爲してゐる
昨今の如き政變氣構への眞只中へ宇垣總督の入京は時機を得たものか疑問だ、宇垣總督に對する人氣については種々批評もあるが、一週間もすれば落着くだらう、今の時局がどうしても宇垣總督を必要とせば決定的輿論が沸いて來るだらう、宇垣總督が不可なれば清浦派の運動擡頭の順序だ、齋藤首相がその進退を明かにしないのは困りものだ、この儘では不測の禍を招かぬとも限らぬ、海軍側の宇垣內閣不反對聲明必ずしも宇垣支持の意味ではない、宇垣總督入京當日何故海軍がかゝる聲明をしたのか不明だが、軍部の政治不關與は當然の態度だ、最近陸軍首腦部方面で海軍側が寧ろ強硬に宇垣反對と宣傳し居るため海軍が迷惑を感じて立場を率直に聲明したものであらう

政民兩派の見解

坂野聲明に對する

【東京三十一日發國通】政友會は海軍の聲明書に對し相當神經を尖らし種々の臆測をなしてゐるが要するに軍人が政治に干與せず國防に專心することは當然で重大危機を前にして軍民離間等の不祥事を避け國家統制の大局的見地より軍本然の立場を明かにしたものであらう、又一面軍部は宇垣內閣に反對せぬと同樣に政黨內閣の出現に對しても兎角の言動をせぬ意味だから本聲明は種々の流說に不安を感じてゐる、一部上層階級に安堵を與へ政黨內閣出現にも寧ろ良結果を齎すものだと稱してゐる、一方民政黨の態度は
軍部が政治に干與すべからざるは勿論後繼內閣等に對しても日和見であるべきは當然であるが、然るにこの際斯る意向を殊更表明せねばならぬ眞意は諒解に苦しむ、軍部內の反對論がこれで納まるか首腦部の態度如何に拘らず部內の反對氣勢が表面化するに至るべきかは宇垣內閣の實現上注目すべき事柄である

國葬後は 活動活潑

【東京一日發國通】政局は東鄉元帥の國葬を控へて表面不氣味の小康狀態を呈してゐる折柄政界多年の惑星宇垣朝鮮總督の入京に政界を始め軍部其他の各方面に異常なる刺戟を與へるに至つた、而して一方黑田問題の取調べ狀況は着々として進捗し齋藤內閣の重大決意を促すべき時期と見られる、小山法相よりの閣議への中間報告は遲くも今月中旬頃と目されるに至つたので政界は愈々多事ならんとしつゝある、只國民齋しく哀悼の意を表する五日の國葬を終る迄は各方面とも表面的の活動は差控へてゐる關係上活潑なる動きを見せるは國葬後と觀られてゐる

宇垣總督は 十日離京

兩三日中參內

【東京一日發國通】宇垣總督は兩三日中に宮中に參內、天皇陛下に拜謁天機奉伺するが、內地滯在三週間だが東京滯在は十日位で十日離京する豫定

白國特派大使 親書を捧呈

わが皇室に御登極御披露

【東京一日發國通】ベルギー皇帝レオポルド三世陛下御即位につき最高儀禮を以て我皇室に御登極正式御披露のため差遣された特派大使ウイリアム・タイス氏は一日午前十時半參內、鳳凰間において天皇陛下に謁見仰付けられ陛下にレオポルド三世陛下御登極について の親書を捧呈した、陛下には懇篤なる勅語を賜ひレオポルド陛下の御即位を御慶祝遊ばされ次いで隨員一同にも謁を賜り正午豐明殿においで大使のため午餐を賜つた

白特派大使 に御贈勳

【東京一日發國通】長き滯留ではベルギー特派大使タイス氏に對し左の通り御贈勳の御沙汰があつた
ベルギー特派大使 ウイリアム・タイス
勳一等旭日大綬章
尙ほ隨員に對しても夫々御贈勳があつた

沿海州各地に 暴動頻發す

地方民不安に戰く

【チチハル三十一日發國通】本日某所に達した情報によれば、蘇聯極東軍においては五月二十日夜蘇聯軍襲來の想定下に哈府よりニコリスク間に亙る駐屯各部隊を總動員し非常演習を實施せるに、下級軍人や地方住民はこれを日本軍の侵入によるものと誤信し人心の動搖を來し、蘇聯民衆は孰れも北方へ向け續々避難しつゝあり、蘇聯當局の人心動搖防止策が耳に入らざるもの如く、加ふるに蘇聯國內における反蘇分子は暗夜に乘じ各兵營に襲撃放火したため火藥庫の爆發せる事實あり、この機に乘じて豫てより反蘇分子と氣脈を通じてゐた赤軍某隊長は三百の部下を率ゐて逃走したが、ゲ・ペ・ウに發見され激戰の結果多數の死傷者を出した、又蘇聯當局においては蘇滿國境の住民を國境三里以內に住居せしめざる方針を樹て國境附近を徘徊するものはゲ・ペ・ウの手により銃殺されつゝあり、且つ日蘇交戰說に怯える反面、民衆はゲ・ペ・ウの重壓に堪へ兼れ各地に暴動頻發してゐるが、蘇聯當局ではこれ等の暴動眞相判明するを恐れ浮浪團を利用し日軍飛行機が沿海州を襲撃せるため家屋を破壞されたと演しやかにデマを飛ばしてゐると

滿洲國承認理由

支那側の逆宣傳に對して サ國外相反駁聲明

【サン・サルヴアドル卅一日發國通】サルヴアドル共和國外相アラウヨ氏はサ國の滿洲國承認につき支那側がさま〴〵の逆宣傳を行ひつゝあるに鑑み三十一日ステートメントを發表し左の如く述べた
サ國が滿洲帝國を承認したのは政治上又は商業上の利益に基くもので全然無い、勿論サ國の領事はサルヴアドル產コーヒーのため新市場開拓に活動を命ぜられてはゐる、しかし現に滿洲國とは如何なる種類の通商上の取極めをもなしてはをらず、又この種の協定を爲すために交涉した事實もない

鐵道省異動

【東京一日發國通】今春來滿鐵入りを傳へられた國際觀光局長佐原憲次氏は三十一日鐵路總局ハルビン鐵路局長に就任決定近く赴任することになつたが、その後任には法規課長田誠氏を拔擢したが、之れを機會に人心更新の意味で運輸局長日比野氏、前田大阪鐵道局長さんを入替へその他二、三異動あり一日發令さる

議員團動靜

三十一日來連した濱田國松氏外衆議院視察團一行は一日午前九時半宿所遼東ホテルを出で旅順に赴き關東長官々邸の午餐會に臨み午後三時半から大連ヤマトホテルに於ける市長、商工會議所會頭主催の時局座談會に出席したが、午後六時半から同所に官民合同の歡迎會を開催する、尙ほ一行は二日解散して隨意行動をとるが濱田氏等は四日發新京の豫定である

蘇聯の不法射撃 頻發は遺憾

謝外交部大臣語る

【新京特電一日發】最近國境河川に於て頻發するソ聯軍隊の滿洲國艦船に對する不法射撃については滿洲國當局は兩國の親善關係上頗る憂慮すべき問題なりとしてその都度在哈北滿特派員公署を通じて嚴重抗議を行つてゐるが、ソ聯當局は未だに何等の回答もなさずその意圖那邊にあるや測り難き不可解なる態度に出てゐるに鑑し外交部大臣謝介石氏は語る
最近黑龍江を航行するわが國船舶に對するソ聯軍隊の不法行爲が頻發累積しつゝあるは滿ソ兩國國關係上洵に寒心に堪へぬところである
五月十二日にはビリヂアン河口附近において、ソ兵が紀警號に對し小銃機關銃を浴びせ乘組員一名を射殺し一名に重傷を負はし又同二十八日にはセイヤ河合流點附近に於て貨物船洋湖號に對し小銃の一齊射撃を加へ六發を命中させ同日アイコン河下流大五家子附近に於いて貨物船武振號を射撃し更に黑河上流に於ても船琳號に射撃を加へ各國境河川を航行中のわが船舶に對し突如發砲するが如きは非人道暴戾の極みであつて、右事件についてはわが方はその都度ソ聯官憲に對し事の重大性を述べ、事件の善後措置に關し要求し即時不法射撃の嚴禁を要求しつゝあるが、ソ聯側は更に反省の跡なく依然

不祥事の 反覆を見つゝあるは洵に遺憾に堪へぬ、かくてはソ聯側は組織的、計畫的の挑發行爲に出でつゝありと見られても辯解の餘地はあるまい、自分はこれは決してソ聯政府の意圖に出でたものではないと信じたいが、若しかゝる事態が放置繼續され、その結果萬一同方面に於て重大なる事件が突發する如きことあるもその責任は一つにソ聯側に歸せらるべきで、自分は滿ソ關係の親善を思ひ切にソ聯の反省を促して已まぬ

日支關係の 好轉反映

無電連絡開始

【上海特電一日發】日支無線連絡は愈々一日から實施された、右は日支關係の著るしき好轉を反映するものにして、過去數年來初めての支那側の提議で又今後日支直接交涉の端緒となるべく期待されてゐる

外務省辭令

【東京三十一日發國通】
公使館一等書記官 七田基玄
任總領事漢堡在勤を命す 領事 武富 敏彥
任公使館二等書記官 中華民國在勤を命す
大使館二等書記官 加藤傳次郞
任大使館一等書記官 英國在勤を命す
大使館一等書記官(佛國) 宮崎勝太郞
英國在勤を命す
公使館三等書記官 木內 良胤
瑞西國在勤を命す
國際會議帝國事務局事務官兼務を命す

丁交通部大臣

【奉天特電一日發】丁交通部大臣は午前七時發安奉線列車にて安東へ向つた

はるびん丸船客

【門司特電一日發】三日大連入港豫定のはるびん丸船客主なる諸氏
計器會社副社長三和真一、倉田織工所社長倉田猛四郎、東洋棉花社員吉田豐、滿洲炭礦社員成田正彥、鈴木益三、池淵平次郞、河田清二、三和原敏夫、葛和善雄、末常拓郞、關西學院籠球部一行十三名

扶桑丸

二日午前大連入港の豫定なるも濃霧のため多少遲れる模樣

人事

▲安達二十三氏(關東軍線區司令官)一日午前七時四十分着列車で來連
▲堤不夾貴氏(旅順要塞參謀)同上歸任
▲北島駒子雄氏(旅順〇〇兵〇隊長)同上
▲白井喜一氏(奉天鐵道事務所長)同日午前九時發はとにて歸任
▲下津春五郞氏(鐵路總局總務處長)同上
▲小須田常三郞氏(滿洲採金會社專務)同上
▲岩倉道俱氏(貴族院議員男爵)同十時三十分發列車にて北行
▲秋月胤逸氏(廣島拓士館高等學校長)一日出帆ばいかる丸にて內地へ
▲佐野茂氏(日滿觀光社代表者)同上
▲ラスビバリ・ボーズ氏(印度志士)同上
▲藤津秀市氏(埠頭事務所庶務主任)一日午前七時二十分着列車にて歸任
▲菊田直次氏(用度事務所庶務主任)同上
▲沖田迅雄氏(大連鐵道事務所人事主任)同上
▲相馬半治氏(明治製糖重役)は社用其の他の用務を帶び一日午後七時三十分着はとにて奉天より來連兩三日滯在の豫定
▲河邊義郞氏(鐵道建設局附技師)四日出帆扶桑丸にて外遊の途につく豫定

◇「宇垣排撃せず」の坂野聲明、俄然政界に波紋を捲き起す。
◇時期が時期、場合が場合だ、いろ〳〵な臆測材料を與へる。
◇政界の惑星、それで一層明快になつたや否や。
◇納まらぬのは政府か、イヤ政黨か陸軍か、それとも海軍部內か。
◇いづれにしても、今年や聲明のあたり年。
◇怠け市會、ダラケ議員、いや結構な御身分ですな。
◇飯に飽きて金魚の眠る午下り。

七寶の柱 (15)

京都にて (二)

小島政二郎
岩田專太郎 畫

「へエー」
「君の家へも、二三度遊びに行いたことがあるつて話だつた」
「さうかな」
「君に姉さんゐる?」
「うん、ゐた」
「ゐた?」
「ついこの間お産で死んぢやつた」
「そりやあ――。姉さんとはカルタも取つたし、ピアノの稽古なんかもしたこともあるつて云つてられた」
「フーム。すると、お姉さまを選りに來た連中の一人だな」
「ハハハ」
「それがどうしたつての?」
「ひどく懷しがられてね、是非一度逢ひたいつて云はれるんだ」
「厭だな」
「さう。有難う」と受けて、
「ねえ、千葉さん、明日私と比叡山へ行かない?」
「いーでせうな今頃の比叡山は」
「だらうと思つて。どう?」
「先生の御用がありやしないかと思ふんですが」
「明日はありやしないわ。朝の九時よ。よくつて」
ふみ子はそのまゝ、返事を待たずにトン〳〵と梯子段を踏んで上つて行つた。
二階の、奧まつた十二疊の座敷で、堀川監督は按摩に腰を揉ませてゐた。
「先生、何御用?」
「ああ」
ウト〳〵し掛けてゐたらしい目を薄目に明けて、
「君、知つてるかい?うちの副社長など」
も、狙はれてゐる獸で物欲しげに云つた。
「大敵さん?」
つい股でみんなの云つてゐるのを聞き覺えてゐる愛稱がチロリと口に出てしまつた。
「ああ」
「知らないわ、逢つたこともなかないわ」
「ところが、副社長の方ぢや、君を知つてると云はれるんだ」
「光榮だな」
「さう云ふ程でもないんだ。君、大學で君のお父さんに御厄介になつたことがあるんださ」
「今夜僕も共々招待を受けてゐるんだ。だから、散步に出てもいゝけれど、五時までには間違なく歸つて來てゐてくれたまへよ」
「おや〳〵、一晩窮屈な思ひをするのか」
「なあに、きさくな面白い人だよ」
「その代り、先生、明日私比叡山へ登つて見ようと思つてるんだけれど、千葉さん貸してくれない?」
「ああいゝとも。千葉を見立てるなんて、君もなか〳〵悧巧だね」
「先生、保證する?」
「千葉さなら、一月女護ケ島に行つてゐたつて、謹なものさ」
「御用はそれだけ?」
「ああ」

悲しみ更に新に ゆうべ納棺式

元帥生前の愛用品もろ共に

【東京三十一日發國通】故東鄕元帥納棺式は悲しみの第二夜夕闇迫る六時頃より莊嚴に行はれた、卽ち嗣子彪氏夫妻始め家族親戚一同愈々元帥に最後の御別れすべく遺骸の横はる八疊の間に居並び、白木造の寢棺に移された遺骸に白綸の衣をかければ啜り泣きの聲起る遺族の合掌訣別終れば有馬葬儀委員長、大角海相等順次別れを告げ最後に病臥中のてつ子夫人も病める身を起して遺骸に向ひ合掌別れを惜しみ白紙に包む夫人の切髮、近親者の爪を始め元帥生前愛用の手廻品や庭手入れに使つたソフト帽や木鋏等遺骸の側に納められ一入の哀愁をそゝる、斯くて納棺式を終つた靈柩は次の間の祭壇に移されたが、祭壇前には畏くも三陛下、各宮家の御下賜品を始め故人の偉勲を飾る元帥刀各種の勳章その他が處狹きまでに並べられ靜かな第二夜の通夜が行はれた

元帥追悼祭

五日、滿俱運動場で

東鄕元帥の國葬に當り大連市民の限りなき哀悼の誠を致すべく一日午前十一時市役所に小川市長、岡野助役、吉野總務課長、岩井軍聯合分會長、松崎、村知同副會長、石川、廣田、木下各海友會代表、木村海軍協會代表、井上民政署庶務課長、富田滿鐵代表、石田商議相談部長、猪谷鹿兒島縣人會代表、伊藤大連新聞代表、高橋本社事業部長ら出席して愼重協議した結果、大連市役所主催のもとに五日午後二時〆東鄕元帥追悼祭〆を滿俱グラウンドにおいて神式により盛大に擧行することゝ決定した、並に花環は一切廢止することゝなつた、但し雨天の際は彌生高女にて擧行される筈

ド大將 國葬に參列

廣田外相深謝

【東京一日發國通】東鄕元帥の國葬儀に關し英國政府は、支那艦隊司令長官ドレヤー海軍大將を派遣參列せしむる旨英國代理大使ドッド氏の通告に接した廣田外相はいたくこれに感激し、三十一日午後松平大使に訓電を發し英國政府に帝國政府の深甚なる謝電を傳達せしめた

妻子を外出させて 殘虐！繼子殺し

犯人神野は土木課現場監督

卽日擴がる世間の噂

去月十日春祭の夜、當年僅か二歳の神の如き無心な妻の連子を毆り殺しにした鬼畜に等しい繼父の兇行が大連署員の苦心捜査の結果一日漸くその事實を確めるに至り恐ろしい繼子殺しの犯人、關東廳土木課大連出張所の現場監督神野喜重(三七)は同日午前十時ごろ甘井子工事場から拘引同署司法係吉岡刑事が取調べたところ日頃の虐待から兇行に至るまでの犯罪の陳述に遺憾無き殘虐非道な面をむけさす稀な殘虐な刑事連を極め世にも恐ろしい繼子殺しの全貌が白日の下に曝け出された（寫眞は刑事室に於ける犯人）

世評が發覺の端緒

兇行は十日の祭の夜

繼子殺しの犯人、市内兒玉町一番地廿一號關東廳土木課大連出張所現場監督神野喜重(三七)は昨年松子(三五)＝目下内地に居住＝を顧に日本橋小學校へ通學してゐる磯江(八才)和久(四才)の三人を殘して妻に死別し、身の不自由から同年十月十八日これも寡婦であつた山形縣東置賜郡高畠村字櫻木の五十嵐みつゑ(三七)と再婚し本年五月一日來連した

妻のみつゑには前の夫五十嵐力藏との仲に出來たミツ子(二歳)といふ病弱の連子があつたが、喜重は日給一圓三十錢の薄給者で家計の苦しいところからミツ子を醫師に診せるどころか、日に増して病弱でヒーヒーと泣くミツ子が憎くなり、世にいふ繼子扱ひにしてゐたが、それがだんだん昂じて遂に惡魔と化し常に虐待の限りを盡した

兇行當日の去月十日大連神社の祭の夜七時ごろ喜重はミツ子を殘して妻子を外出させ病苦と餓ゑに泣き叫ぶ無心のミツ子を毆り殺した彼は直に中村醫師を迎へ擬殺の事實を告げず、病氣衰弱といふことで診斷書を貰ひ受け、妻にも打ち明けず何食はぬ顏でさゝやかながら弔ひを濟ましたのであつた

誰知るまいと思つた繼子殺しのその翌日からパッと擴がり遂に大連署員の探知するところとなり、爾來同署司法係吉岡刑事は證人及び側面捜査の結果、日頃のむごたらしい虐待事實が判明し

一日午前十時ごろ喜重を甘井子出張先から拘引嚴重追究を行つた結果、遂に包み切れず恐ろしい繼子殺しの顛末を逐一自白した

鬼畜の姿

庇ふ妻まで毆り倒す

病弱のミツ子に對して加へた日頃の虐待は聞くものをして面をそむけさす慘虐さである、犯人の妻であり殺されたミツ子の實母みつゑ(三七)が大連署で陳述してゐるやうに、みつゑが病氣で苦しんでゐるミツ子を抱いて寢やうとすると喜重は色を變へて怒り、決して母親の添寢を許さぬのみか、喜重は神の如き無心なミツ子に對して二日も三日も食事を與へず、餓ゑて泣き續けると毆打し果は押入れに投げ込んで二日間も放つて置くことも屢々であつた

これが爲めミツ子は押入れの中で鼠に咬まれて傷ついても何等手當を加へず、見るに見兼ねた妻が看護しようとするも今度は妻に對して虐待を加へるといふ有樣で、その行爲は全く鬼畜に等しいものがあつたといふ

ミツ子の衰弱は日に増して骨と皮とに化して見るかげもない憐れさで近所の人の評判にすら上つてゐた、一日大連署に拘引された喜重は取調べの吉岡刑事に對し

大連神社の祭の夜、妻子が外出した後でミツ子が餘り泣くので豆腐を食はしたが、それでも泣き止まぬので頬を一つ毆打したところコロリと死んで終つたので最初から殺す氣はありませんでした

と殺意の點を否認してゐるが、日常の鬼畜に等しい虐待ぶりから見ても、また妻子を外出させた點から推しても計畫的犯行と見られてゐる、犯人は刑事から貰つた煙草をアカアカとふかして平氣な態度であつたがそれでも「新聞にだけは出さぬやうにして下さい」と云つてゐた

押入監禁は三回ほど

泣伏す母さん

兒玉町一番地神野喜重方にみつゑさんを訪れると目下妊娠中の彼女は實子を毆り殺しにされた悲しみで眼を泣きはらし記者の問ひにオロオロと語る

主人は非常にお酒飲みでそのうへ短氣者で、ミツ子が虐待されるのを見てゐてもどうすることも出來ませんでした、丁度祭の日には磯江は外出して歸らず、私は主人がお祭を見て來いと云ひましたので和久(四つ)を連れて午後四時ごろ家を出て午後六時ごろ歸宅しました、すると二階の（同居人）石川さんが「ミツ子さんが死んだから」といつてお醫者を呼んで來て異れたところでした、その時主人が殺したとは思ひませんでしたが、主人がミツ子を押入れに入れたのは三回ほどあります

あとは何を聞いても答へず、夫の拘引されたのを聞いて泣き伏して終つた

隣家の日向氏談

隣家の日向大助氏夫妻は交々語る

丁度祭日だつたので全部外出しました、神野の奧さんも主人に用事ないひつけられ電氣遊園へ行つてました、私達が歸つたのは八時頃でしたが子供が死んだと神野さんが云つて來たので丈夫な子がと思ひました、奧さんは十時半頃歸つて知つたらしいです、神野さんは別に氣も狂つてゐませんし動直な人ですが、酒はいくらでも呑む人で、その日も相當のんでゐました、近所附合なんてめつたにしない人だから性質は知りません、先々妻に先妻の子供が三人あり、一人は昨年十月郷里山形縣へ連れ歸り、その時連子のあるのを承知でみつゑさんと結婚したのです殺された子供はこちらへ來てすつかりやせ、骨と皮になつてました、私達が可哀さうなので世話するとみつゑさんに當るらしいのです、連子を承知の上で結婚したが、矢張り面白くなかつたのでせう、それ以上は推察して下さい、みつゑさんも意志が弱くて可哀さうです先妻の子供は隨分可愛がつてゐるのですがね、丁度姙娠中だし全く氣の毒です

隣に富むみつゑさんがゐるが口を緘して何事も語らず瞳を伏くたれ涙に咽んでゐる姿が哀れに見える

本社大優勝盃寄贈

全滿學生野球大會に

滿洲學生野球聯盟主催本社後援の第一回全滿洲學生野球大會は愈々二三兩日實業球場に於て優[illegible]南滿工專並びに滿洲醫大、旅順工大三校參加の下に擧行するが、本社では新制聯盟のため高さ二尺五寸銀製の大優勝盃を寄贈することゝなつたが同優勝盃は永久持ち廻りの上優勝チームに授與する筈である（寫眞は同優勝盃）

大連驛の新築 いよいよ實現

七月中に具體的設計

大連驛の新築は一時豫算關係で全く行惱みの狀態に置かれてゐたがその後周圍の情勢は大連驛新築をますます要望するの形勢となり、既に大連商議團では近く滿鐵に對し新築に關する請願書を提出することゝなつたが

このほか關東廳方面でも同驛の新築には最大の關心を持ち、大連市大都市計畫實現のうへからしても一日も早く大連驛が理想的位置に新築されることを熱望してをり

滿鐵としてもこの際相當の追加豫算は覺悟の下に鐵道サービスと大連市將來の發展助長の立場からいよいよ大連驛新築の腹を決め目下鐵道部で具體的設計を進めてゐる

而して同驛の新築に關して最も決定難を傳へられてゐたものは位置の問題であるが、大勢は現位置を固執せず既に都計案に從つて決定するのほかないものと見られてをり

從つて鐵道部としては近く關東廳都計委員會および市內關係方面と最後的協議を遂げて數種の鐵道部案を作成の筈で[illegible]副總裁上京までにこれを重役會議にかけることとは困難視されてゐるが總會を終つて歸連と共に直に重役會に提出七月中には具體的設計が決するものと見られてゐる

小國民道場敷地を 高松宮殿下御下賜

【東京一日發國通】高松宮殿下には東京府で皇太子殿下御誕生記念事業として、國民精神作興のため小國民道場を建設する計畫あるを聞し召され、右資金として麻布の宮家所有地五千八百八十二坪を御下賜あらせられる旨御沙汰あつた

錦を飾る 凱旋勇士

智利丸で出發

在滿二ケ年有半掃匪、治安工作に挺身王道樂土建設の基礎を確立した金滿洲部隊○○○名は輝く武勲を双肩に華やかに除隊凱旋することゝなり、歩兵大尉志摩廣吉氏に指揮され滿洲各地から一日午前十時三十分御用船智利丸に便乘、凱旋したが、この日埠頭には小川市長、山崎理事、中野文書課長を始め各知名士、學生、團體、一般市民の歡送隊は早朝よりつめかけ、訣別の涙に咽びつゝ萬歳々々を絶叫定刻出帆のどらに打ちふる小旗感激の餘波にその凱旋行を壯ならしめた

なほ今回の凱旋兵中には僻遠の地にあり、凱旋日取の都合で飛行機を利用無事凱旋した兵隊もあり、かゝることは今回が始めてゞあるぞ（寫眞は乘船の凱旋兵）

中園と勝美の 控訴公判廿二日

旅順高等法院にて

中園繁雄、勝森勝美に對する兒玉事件第一回控訴公判は、愈々來る二十二日金曜日午前十時から旅順高等法院第一號法廷において藤崎判官裁判長となり長島長尾兩陪席判官、岡檢察官、荒木書記立會の上開廷することに決定した、當日は混雜を避くるため約百名に限り傍聽券を發行する由である

滿鐵のボーナス 前と同額、斷然パリ

十二、三日から支給

サラリーマン待望の六月の賞與は早くもオフィスデスクの話題に花を咲かせてゐるがサラリーマン王國の滿鐵では一日の重役會議で本月上半期社員賞與支給の件を附議承認した、これによれば六月賞與は前期通り月俸社員二十割乃至二十五割平均で十二、三日より支給されて二十日頃までに各部全體に行亘るが、各部人事係では拔數日賞與査定に大汗である、なほ當日の重役會議では東京支社の人事に就いて協議されたが決定を見ず四日の月曜日に持越された

ばいかる丸で 離連した人々

美ましい限り ボース氏語る

新京における大アジア建設社發會式に參列旁新興滿洲國の發展たる獨立發展ぶりをつぶさに視察中であつた印度亡命の志士として知られてゐるラスビハル・ボース氏は語る

僅か一ケ月餘の旅程だが、何處へ行つても同志が居つてくれて非常に氣強かつた、滿洲國の健全な獨立ぶりを見て思ひは遙か印度の上に飛ぶが、實に羨望の限りである、御承知の通り自分はアジアの大同團結につきかねてより同志と相はかり、明日のアジアの爲に微力乍ら力めてゐるが、こうした同じ目的のものがかたまつたら大きな力となるだらう、アジア學術大學開催に關するアジア聯盟の運動にも賛成だ、胡適、アインスタイン、ガンヂー等が集つて色々話り合ふ事は無駄でない、しかし來年の事だ、開催地は大連か東京になるだらう、いづれにしても滿洲は新しい獨立國家として內容的にも對外的にも更に充分なる整備が必要だ

全撫順野球日程

滿俱對全撫順戰

三日午後二時半、滿俱球場で

實業對全撫順戰

四日午後四時、實業球場で

後援 滿洲日報社

滿洲學會例會

滿洲學會では六月二日（土）午後四時半から月例會を滿鐵圖書館樓上において開催、旅順博物館主事島田貞彦氏の研究發表があり多數の來聽を歡迎すると講演題目左の如し

▲神秘的意義を有する遺物に就いて

よい劇團が押寄せよう

レビウ代表 佐野氏談

松竹レビウを初めて大連に紹介し日滿觀光社のスローガンの第一歩に手を染めた同社代表佐野茂氏は少女達とは一足遲れ出發にのぞみ語る

今回はいろいろとお世話になりました、豫期した樣な成績は收め得なかつたが約五千名に及ぶ市民各位に御來場を得、ことに多數の外人の觀客のあつた事を思ひ合すと相當の効果のあつた事と信じる、主催者側の目的としては無聊に苦しむ在滿邦人の爲に少しでも慰安になつた事を喜ぶものである、これを皮切りに好い劇團が續々來滿する樣になると信じる

滿洲國向の人材を養成

秋月校長語る

約一ケ月に亘り滿洲における教育狀態視察中であつた廣島拓士館高等拓殖學校長秋月憐逸少將は語る

今度は學校の目的性質について滿洲國政府當局によく說明して必ず御用に立つ人物を送るとの約束のもとに文教部邊りと連絡をとつて來た、學校としては徒らに科學的なものをさけて精神教育に重きを置き肚のすわつた人材の養成につとめてゐる今年第一回の卒業生は四十七名あつたが、そのうち三十七名は滿洲國で働く事が出來た

防空講演と映畫會

大連市防護團においては團員のために二日午後五時より七時迄と七時半より九時迄の二回に亘り常盤小學校において左の如く防空講演と映畫會を主催するが一般も揃つて來聽來觀されたいと

▲講演 外賀要塞司令部大尉「防空に就て」

▲映畫「防空」その他數卷

宮崎縣人家族會

宮崎縣人家族會は來る三日午前九時より星ケ浦公園內グラウンド（電車停留所は臨海浴場）に於いて開催するが、會費金一圓例年に比し盛大に擧行する由なれば多數の參會を希望すると

光明婦人會發會式

市內篤家屯西崗居住民有志家相計つて今回大連光明婦人會なるものを組織することになり三日午後零時半より大連技藝女學校に於て創立總會を開催すると

天氣予報

（二日）南東の風雨後ち曇

滿潮（午前零時四〇分 午後一時一五分）

干潮（午前六時三〇分 午後八時）

各地溫度（一日午前十一時）

地名	溫度	地名	溫度
大連	一六	奉天	二二
旅順	一六	新京	二四
營口	二二	新義州	一九

暴風警報 風雨強かるべし 一日午前八時遼東半島附近及びその近海を警戒す（一日關東廳觀測所發表）

今日の小洋相場（十一時半） 金百圓につき百廿六圓四十五錢

社説

對滿政策根本解決の促進

滿洲における三位一體制が、過渡的制度であることは過ぐる議會において明白に指摘され、政府當局が早晩根本的改制を行ふべきことを言明した。其後拓務省は此の方針の下に調査研究を進め、近時其の要領を擧げた中に、第一に現在の三位一體制を脱却して、親任官の文官關東長官を置く可き舊制復活を提唱してゐる。卽ち關東州及び滿鐵附屬地における一般行政を、專任の文官長官に統轄せしめ、同時に命令系統を拓務省に一元的に所屬せしむることを明示し、併せて附屬地行政を滿鐵より回收し、同省管下に移すことである。附屬地行政移管の實行難は暫く措き、此の拓務省の方針は教育、土木、衞生等從來滿鐵の施設に係るものを統一し、他は槪ね舊制の復活である。三位一體の過渡的制度たるを認むる以上、理論的に至當の主張として肯定さるべきである。

◇

吾人は曩に對滿政策に關し、既得權益確保の考へと、現軍に卽する新方針樹立の考とが對立してゐることを指摘した。一は日滿兩國の分立を確認して日本が彼れを援助せんとするものであり、一は兩國の一體合流を意識するものである。而して此の兩意識を統制して、一定の方針を確立するが必要であると說いた。然るに此處に吾人の希望に反する如き傾向がある。それは一方に拓務省の如上の方針があり、而して他方には、恰もこれに對立的に立てられたるが如き意見があることだ。例へば軍部の對滿政策として傳へらるゝ中にある所の、關東廳は單に關東州の統轄に限る一地方廳と爲し、滿鐵に對する監督權は之を全權大使に移し、三位一體制を二位一體制とする案の如きがそれである。

◇

關東廳を關東州内の地方的行政廳に限定することは、附屬地を解放して滿洲國と合流させるといふ意識に出發するものである。斯くして拓務省の管轄を關東州に限れば、全權大使と軍司令官との二位を以て州外を全面的に支配し、同時に外交を除く全部門に亘りて軍部の指導と統一とを實現し、之れによりて滿洲國との合流の實を擧げ易い。新事態に應ずる新方針を示すものである。而して拓務省が主張する所の、拓務省が附屬地の一切の施設に當り、附屬地内の領事館を能ふ限り縮小し、外務省の所管を附屬地外へ逐ひ、並びに滿鐵の監督を拓務省の手に强化せんとする計畫とは、全然行き方を異にする。後者は飽くまでも舊來の權益保持に基礎を置くもので、滿洲國と合流せんとするものとは殆ど正反對の動向を示す。同一政府内にありて、對滿政策の案の立て方が部門により斯くの如くに異なるは畢竟根本の指導原理が定まらざる爲めと見る外はない。吾人は斯かる狀態の長く繼續するを以て我對滿政策に不利なるを思ひ、速かに一定原則の確立されんことを必要となすに外ならない。

◇

此事は滿洲國に對する治外法權の撤廢等とは自ら別個の問題である。對滿方針の基幹的問題である。決して政策上の當面的案件でない。而も中央の政情は綱紀問題を中心として、頻りに動搖を傳へらるゝ今日、此の國策に關する基幹的の大問題が容易に具體的決定を見得ざる實情にある。甚だしき焦慮を感じない譯に行かぬ。何は措いても本問題の基幹的解決を促進されたいものである。

ソ聯の不法射擊に一般的注意を喚起す
帝國政府當局談發表

【東京一日發國通】最近ソ滿國境方面におけるソ聯側の不法行爲は枚擧に遑なく去る三月日本軍飛行機の射擊ハバロフスクの我總領事館發砲事件、滿洲國汽船紀鳳號、洋湖號又二十九日には武振號に對し不法なる發砲を加へ乘組員に死傷者を生ぜしめた、右の内日本軍飛行機射擊事件は未だ我抗議に回答をなさずハバロフスク總領事館發砲事件には陳謝したが他の三汽船射擊事件は目下滿洲國外交部よりソ聯に對し嚴重抗議中であるが事態明かず、斯く頻出するソ聯側の不法行爲に對し滿洲國と共同防衞の責任にある帝國政府としては日ソ滿三國關係の逼迫を恐れソ聯に反省を求むべく一日左の如き當局談を發表すると共に廣田外相は近く駐日ソ聯ユレニエフ大使を外務省に招致し嚴重注意を喚起することになった卽ち

國境附近で斯くの如く日本飛行機並に滿洲國船舶に對し濫りに發砲することは事態の如何に拘らず甚だ不正なる行爲と認むる而して年來の日ソ友好關係に多大の暗影を投ずるものなるに鑑み帝國政府は現地よりの報告の到着を俟ち詳細調査の上ソ聯に對し一般的に注意を喚起すると共に將來絕對斯かることをなさざる樣保障を求めねばならぬ

匪禍の中心を往く
今は全く秩序が回復した
佳木斯富錦視察談

【ハルピン特電一日發】滿鐵ハルピン事務所貴島産業課長はこの程佳木斯、富錦方面を視察したが氏は語る

土龍山部落附近を飛行機で巡視して見たが今はすつかり秩序回復して耕地も手入れが行屆いてゐるが他の地方は匪賊が橫行したために耕地の手入れも出來ず家の燒かれてゐるのも大分ある謝文東等は今度の討伐で山岳地帶に逃込んだらしい謝は住民の困苦を救ふために妻子を殺し義軍を起したのだと宣傳してゐたがこれも芝居で逃げる時には妻子を連れて逃げたさうな、佳木斯では匪賊に家を燒かれ路頭に迷つた農民百五十名が救濟を歎願して來たが悲慘なものだ

勳一位親授式

【新京特電一日發】さきに發表された鄭國務總理以下勳一位の敍勳者に對する親授式並に賞參議以下勳二位の奉授式は二日午前十一時より宮内府において行はれることに決定、故于沖漢氏に對する勳章追賜は遺族の居住地地方長官の手を經て追賜される筈である

故周作霖中將に追叙勳二位

【新京特電一日發】建國の功勞者としてまた馬占山討伐に際し、赫々たる功績を收めた黑龍江省警備司令周作霖中將に對し二十七日附をもつて敍勳の御沙汰があつた

陸軍中將 周作霖
敍勳二位賜景雲章

『滿洲事情』
諸學校に採用されやう
丸山一中校長歸連談

五月十七日より五日間に亘り東京府立一中において行はれた全國中學校長會議に出席中であつた大連二中校長丸山英一氏は一日入港しあさゐ丸にて歸連、船中語る

一、議題の主なるものをあげると文部省諮問案として時勢に鑑み中學校生徒の思想善導に特に留意すべき事項如何並びに中學校體育の使命に鑑み全人的な體養を徹底せしむる方法如何等であるがこれ等の實質的中心問題となつてゐたのは(一)教員定數の復活を計り一層體育力の充實を圖る事(二)一學級の生徒定員數を減少し體操訓練の徹底を期する事(三)公費を以つて有力なる校外體護の機關を設ける事(四)自宅から通學し得ざる生徒のため特別なる施設をなす事等が決議された尙は今次の旅行では東京、大阪、神戶、岡山、廣島等に行き第一種、第二種課程の實施狀態、校外における學生體護の實際、受驗準備授業の實際を見て來た、そして今秋全國中學校長團が大擧鮮滿視察を企てるがその際我々でその斡旋を引受ける事を約束して來た

一、そして更に全滿中等學校教諭諸君が熱心協力編纂した「滿洲事情」が愈々三省堂から發行されるが、自分は會議においてこの編纂の趣旨の説明をして內地においてもこれを採用されたいとすゝめて來たが共鳴を得たから相當採用されると思ふ

一、尙今度上京して以前から櫻井勳四郎氏等が運動してゐた滿洲から上京してゐる學生等に對する何か親切な好い機關が是非必要だと云ふ事を痛感した

京大に滿蒙調査會設置
松井總長來奉

【奉天特電一日發】帝大總長松井元興氏は小林鳳三氏を同伴一日午後二時安奉線列車にて着奉、ヤマトホテルに入つたが語る

京都大學内に滿蒙調査會が設立されたので滿洲の各機關と打合せするためにやつて來た、また京大卒業生の活躍狀態をも見たいと思つてゐる、調査會は大學に附屬して總裁に總長、理事に各部長が專任され研究は醫學によらず文學、法律、經濟、音樂美術あらゆるものを網羅する積りである、自分は分析化學の方を研究してゐるので撫順のオイルセールは是非見たいと思つてゐる

忠靈塔基金募集
軍人會館『演藝の夕』

【東京一日發國通】新京、ハルピン、チチハル、承德の四ケ所に忠靈塔を建設する計畫は各方面に多大の共鳴を呼び起しつゝあるが在鄉軍人會では全國に檄して建設基金を募集する外軍人會館最初の試みとして同會館自から主催となり來たる十日午後六時より「演藝の夕」を催して純益金全部を獻金することに決定した、贊助出演者は西村樂天、大島伯鶴、淺草の吉奴、豐太郎、川田芳子それに丸一小仙一座、三遊亭金馬、木村重友、九官鳥等を始め三、四十名の人々が演藝報國はこの時にありと何れも無報酬で出場を申出でたので會館當事者も感激したが時間の關係上全員を出演させるわけに行かず成る可く盛澤山にすることにして納得させた

燈火管制警報
滿洲國人に徹底
大連市役所 滿人委員會

關東州防空演習統監部では大連市に於ける廣汎な滿洲人居住區域につき、燈火管制及び警報等に關する知識を徹底せしむる爲め一日午後二時より大連市役所に於て滿人委員のみを招集してその協議會を開催したが

統監部よりは旅順要塞司令部工兵少佐伴野英二氏、民間側よりは御影池委員長代理として成田地方課長を初めとし滿人方面委員張滿五、王信齋、徐慶齋、運子坪、安慈臣、郭子珍の諸氏、大連市商會王鳴珠氏、新業銀號閣之如氏、千代田町區長史寶國氏その他水上、小崗子、大連、沙河口の各警察署員等出席

伴野少佐より一般警報燈火管制につき發令、解除、警戒管制、非常管制、電燈の覆ひ方等に亙る詳細な說明及び防空演習の精神等に亙る講演あつた後協議會に移つたが滿人側より多數の質問意見等出で四時過ぎ散會した、尙ほ本日の協

家庭に關係深き燈火管制の要領
重要なる注意事項

防空知識 (2)

前回に關東州防空演習の概括的な說明をなしたが、更にこれを要約すれば要地の遠く前方に防空監視哨を配置して敵機の發見に任じ、來襲の報告あるや、廣く警報を傳へて防空準備を整へ燈火管制を命じて要地の外方四周に配置せる防空飛行隊を以て敵機を攻擊し要地の上空に到達することが出來ないやうに全力を盡す、それでも漏れて來襲した場合は高射砲等の射擊により擊墜又は擊退に努めるが、尙ほ且つ殘つた被害に對しては機を失せず對策を講じ得るやう消防班、警護班、救護班等を配置してそれぞれ活動するのである、而して積極防空は主として軍部これに任じ(通信及び防空監視哨は地方官民も當る)消極手段のうち警備は軍部と地方官民との協同により、その他は地方官民において編成される、以下既に分類した編成部署に從つて先づ消極的防空から始める

燈火管制

燈火管制とは敵機の夜襲を豫想される場合、要地附近一帶の發光燈を上空に對して匿すことにより空襲を困難ならしめ又はその効果を少くしやうとする方法であつて消燈、遮蔽(發光體を直接不透明なもので覆ふ)隱蔽(雨戶や窓覆をかけて光が外に洩れぬやうにする)(制限)發光燈の數を減じたり燭光の小いランプに取換へる)の四つの方法があり、夜間における消極防空の主體をなすものである、そして燈火管制は豫想する危險の狀態により警戒管制と非常管制に分つことが出來、警戒管制は敵機來襲すべしと豫想する期間輕き管制を行ふをいひ、非常管制は來襲の確報を得て全燈火管制區域に重き管制を行ふをいひ、また燈火管制は實施方法により中央管制と自由管制に分つことが出來、中央管制とは發電所、變電所、配電所において配電線を遮斷し各燈火を同時に消燈するをいひ、自由管制とは個人又は團體每に火光を祕匿するをいふところで往々にして燈火管制はたゞ消燈すればよいと考へてゐる向があるが、それは大變な間違ひである、眞暗にしたのでは交通、通信、治安維持、各種生產や家庭内の仕事も出來ないからこれでは戰爭に負けてしまふ何處迄も仕事が出來る範圍内に暗くし又は光が外に洩れないやうにするのを建前とせねばならぬ、尤も暗くすれば交通事故が起つたり、コソ泥の被害を受けたりするかも知れぬがこれに善處するのが大切であり、またこゝに燈火管制の苦心が存するのである

◇

これを警戒管制と非常管制に分つて今少し具體的に說明すれば、警戒管制においては敵機の目標になり易い光や都市から發散する天を焦すやうな螢光が對象となる、卽ち街路燈、門燈、軒先燈、裝飾燈イルミネーション、廣告燈、看板燈など主として屋外燈がこれに屬し、これらは演習開始と共に夜になつても燈火がつかぬやうに晝間から開閉器を開いておくとか、開閉器のない燈火ならば電球を取外して置くといふやうな處置をそれぞれ講じておかねばならぬ、但し全部消したのでは治安や運輸交通等々に危險を伴ふから多少殘しておかねばならぬが、それは官廳や滿電にて然るべく處理するであらう、ともかく一般市民としては警戒管制と同時に屋外燈は悉く消すものと考へてゐて差支ない、次に非常管制は敵機が愈々わが關東州を爆擊目標として飛んで來つゝある時機の管制であるから絕對的に上空に光を發散させぬやうにせねばならぬ、從つて警戒管制中には治安維持や運輸交通上殘して置いて差支へなかつた屋外燈も消燈し必要已むを得ぬ最小限度の永久燈のみを全く遮蔽して殘すべく、各家庭においても不要のものは全部消し、萬已むを得ぬものだけ絕對に外に洩れぬやうに處理せねばならぬ

◇

そこで各家庭に關係深き燈火の管制要領を二、三示せば電燈の遮蔽は黑色布(厚地木綿布を可とす)を二十四ワット迄一枚といふ割合で覆うて笠より垂れ或は絞る、同じく隱蔽は不透光紙又は黑色布で新聞紙五枚を重ねた程度の透過率までに窓を覆ふ、また自轉車の燈火は黑色布にて包めばよい、なほ消燈及び遮蔽に當り二、三注意すべきことは暗くすれば發光物體に燃燒物を觸れないやうに注意しないと火事を起すことであり、木造柱についてゐる外燈を取外す際、直接柱に梯子をかけて登ると柱が傾く虞がある、それから電燈點滅用としてスウィッチを設備するには滿電に申込むべく(但し材料や工賃は申込者の負擔)消燈上技術を要し各個に消燈出來ない場合は防護分團の事務所に五日迄に申込むがよい(寫眞は防空監視哨の活動)

八周年記念に滿電の祝賀式
社員や團體等を表彰

創立滿八周年記念日を迎へて滿電では一日午前十時より常盤橋本社庭に於て記念祝賀式を舉行入江專務以下石橋常務、古泉取締役技師長、各課所長、社員多數列席、定刻國歌合唱裡に國旗揭揚開式

先づ入江專務の挨拶あり、これに對し末續庶務課長社員を代表答辭を述べ社員の表彰式に移り、優良並に永年勤續社員、優秀團體等を表彰、記念品を贈呈、引續き祝賀宴に入り冷酒を交して同十一時閉式した、表彰された社員並に團體左の如し

▲個人表彰 相良佐市(營業課)永尾一(發電所)佐藤正晴(同)滿洲人文(電燈)劉(安東支店)
▲團體表彰 營業課自動車係
▲永年勤續者▽二十五年以上(滿鐵通算)長谷川收以下二名▽十五年以上栗山他二外二百名

付替工事 始通式

昨年九月三萬圓の工費を以つて着工された鰲魚子會二道河子貯水池工事に伴ふ旅大道路約二キロの付替は此の程略完成し貯水池堰堤工事の都合で假通行を行ふとゝなりその始通式は一日午前九時半から二道河子現場事務所で行はれた

故元帥を偲ぶ會
旅順の遺墨展
枝原中將講演

旅順敎化聯合會及び興文會は合同主催の下に來る六日午後四時から第一小學校において故東鄕元帥追悼講演會並びに遺墨展覽會を開催する事となつたが右講演者は枝原要港部司令官である、なほ元帥の遺品遺墨所有の向は是非民政署平井庶務課長まで通知せられたいとのことでこの表にまとめてビラを作成し十萬枚を日滿各家庭に二、三の兩日配布する由

大連市會へ
一市民

◇大連驛改築問題は商工會議所の要望により白熱化せんとす、市會の存在を疑はざるを得ぬ、市會の決議による大連驛新築に關する意見書の價値如何。

◇意見書を提出可決せる以上貫徹すべく熱と力とを要す、大に市長小川君を鞭撻されん事を切望す。會議所と協力猛進可なり、敢て功名を爭ふ必要なし。

◇大連市民の經濟的生活上福利增進を目標とし、大にしては滿洲經濟策源地として又日滿經濟統制上の仲繼地として交通機構の完成は焦眉の急を要する、敢て市會の努力を切望すると共に小川市長の猛省を求む。

草木愛運動
M生

◇美しい町に住む人の心は屹度美しい心の人であらう。國際都市大連の有つ美しさは初夏の街路樹に一番の魅力を誘ふ。早朝爽かなペーブを步く時に乳色のほの甘い花の香に、如何ばかり人々は明朗な快味に浸ることであらう。

◇その嬉しい初夏の訪れと僞に樣年下ら心を傷ませるのは、折角の花木を手折つてはにべもなく街路を散らし殘す、無心なる小さな暴君の仕業である。

◇〃草木を愛しませう〃この美しい心懸けを學校の校庭ばかりに限定してはいけない。元氣盛りの子供だからと云つて傍觀してはいけない。教育は社會人としての道德を育成させるのが肝要である。

◇双手を擧げて贊成の大連綠化運動は先づ草木愛護運動から出發さるべきだ――そして一萬五千人の小學兒童はこの運動に於ける最も大きな役割を有つ。

ペシコフ丸引渡し完了

【函館一日發國通】昨年八月我が驅逐艦に拿捕されたロシアトロール船ペシコフ號は三十日大湊より當地に入港昨日ソウエートへ引渡完了し一年間の紛爭解決した

養鷄講演會

我が日本養鷄界の權威日本家禽研究所長高橋廣治氏の來連を機に養鷄事業における同氏の豐富なる經驗談並びに研究方法を聽くべく滿鐵農務課及び滿洲農事協會では共同主催で六月一日午後四時半より滿鐵社員俱樂部において養鷄に關する講演會を開いた

關東廳辭令(一日)

敍勳五等授瑞寶章	從五位勳六等	安田忠治
同	正五位	豐田太郎
同	從五位	鷺谷乘養
敍勳六等授瑞寶章(各通)	從六位	大貫正
同	從七位勳八等	松原斧吉
同		柿野三郎
敍勳七等授瑞寶章(各通)		榊原參藏
敍勳八等授瑞寶章		佐々木徹

人事

▲吉田正武氏(滿洲計器公司常務理事)一日午後四時二十分着列車にて來連遼東ホテルへ
▲米澤泰長氏(防彈衣研究所々長)同午後七時三十分着列車にて來連ヤマトホテルへ
▲相澤牛治氏(明治製糖重役)同上
▲山口縣々會議員視察團一行七名同上來連

大觀小觀

生時既に神格を認められた東鄕元帥の靈愈々東鄕神社として祀られる▲日支無電聯絡愈々一日から實施、例の通車も近く實施されさう、何といつても兩國の無交通は實情が許さぬ▲我輸出貿易の發展、底無しの狀況、中にも中央アメリカに、昨年に比し二百七十六パーセントの輸出增加は物凄い▲列國如何に躍起になつて妨害しても、不自然な人爲阻止は到底駄目▲滿洲視察の途次二、三日滯連、一日日本に歸つたインドの志士ボース氏、撫東學舍や滿鐵社員俱樂部の座談會でその抱負を述べた▲曰く、カナダ、濠洲の如き英本國と親類筋の者でさへ、完全な自治を持ち、別個の外交機關を置いたりする、異民族異宗教のインド人が解放運動を爲すのに不思議はあるまい▲曰く、人の人たる所以は他人の爲めに働くにあり、國家も同樣、人間らしき文明は犧牲を尊ぶ亞細亞主義にあらねばならぬ▲曰く、人が使命を果すには健康を要す、國家も然り、他の壓迫下にありては健康的發育を爲す能はず、それでは人間としての使命を果す能はず、解放運動を爲す所以▲曰く、三億五千のインド人が不健康では、亞細亞主義の發達は望まれない、三億五千が健康を得て、全亞の幸福を期し得る▲但し武器を持たぬ民衆は飽くまで平和的運動で目的を貫ぬく見込みがある。

市況(一日)

株式

地株保合

新東日產强保合を入れ當市の日產六十錢高新東十錢高地場は保合であつた

◇定期後場(單位十錢)

銘柄	當限	先限
寄	―	二五九
五品 中	―	二五九
引	―	二五九

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二四	二四	二四	二四
日產	一三三五	一三三五	一三三〇	一三三〇
東新	一六九	一六〇	一六〇	一六七
滿二新	―	一五〇	一五〇	―

◇轉取引

代行	三一四	三二五
土木	一六〇	

特產

大豆强保合

後場の定期は大豆は南支筋買に强保合を呈し、豆粕は不申、豆油は閑散强保合、高粱は閑散保合を示した

◇現物後場(銀建)

▲大豆(强保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
七月末	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
八月末	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
九月末	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇
出來高	百三十車			

▲普通大豆(出來不申) ▲豆粕(出來不申) ▲豆油(强保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	九一〇	九一〇	九一〇	九一〇
八月限	九二〇	九二〇	九二〇	九二〇
出來高	二千五百箱			

▲高粱(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇
九月末	一九三〇	一九三〇	一九四〇	一九三〇
出來高	十八車			

▲包米(出來不申)

◇定期後場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)(裸物)	三六八〇	三六六〇
出來高	七十車	
普通大豆(袋込)(裸物)	三五七〇	三五五〇
出來高	五車	
豆粕	一一八〇	一一八五
出來高	一萬一千枚	

豆油(出來不申) 高粱(出來不申) 包米(出來不申)

錢鈔

鈔票軟調

上海標金高を入れ人氣弱く前場より六十五錢方下押し安値止めさなつた

◇定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	一一〇五〇	一一〇〇	一一〇三〇	一一〇三〇
出來高	期近 二百二十九萬圓			

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	一一〇五	一四〇五	一三六〇
二時	一一〇〇	一四〇五	一三六五
三時	―	一四〇五	―
出來高	(銀對金)廿一萬七千圓	(銀對洋)六千圓	

商品

綿糸保合

綿糸 大阪三品後場寄小戾り引ボンヤリの結局保合を入れ當市は氣乘薄閑散

銘柄	約定期	値段	個數
福助	六月限	二三二四	一〇
同	九月限	二一五六	一〇
同	同	二二三四	二〇
出來高	四十梱		

奧地市況

▲奉天奉票對金票	現物	五六五〇	
▲奉天國幣對金票	現物	一〇六〇〇	一〇五七〇
	先限	九四三五	九四七五
▲奉天國幣對鈔票	現物	一〇四六〇	一〇四七〇
▲新京國幣對金票	現物	一〇六〇〇	一〇六一〇
▲哈爾濱國幣對金票	現物	一〇六一七五	一〇六一七五
▲哈爾濱大豆	六月	五七五〇	五七〇〇
	七月	五七五〇	五七七五
	八月	五九五〇	五九五〇
	九月	六一〇〇	五九五〇

市場電報

大阪株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
大株	一二〇〇〇	一二〇五〇
大株新	一二一四〇	一二一二〇
鐘紡新	一三八九〇	一三八九〇
郵船	五四五〇	一三一三〇
東新	一七〇三〇	一七〇二〇

大阪株式(短期)

	大新	東新
寄値	一一九五〇	一六八二〇
引値	一一九五〇	一六八二〇
高値	一一九八〇	一六八三〇
安値	一一九四〇	一六七九〇

	鐘紡	日產
寄値	一三一〇	一三四六〇
引値	―	一三四一〇
高値	―	一三四六〇
安値	―	一三四一〇

東京株式(長期)

	帝人	滿鐵
寄値	七四七〇	六六九〇
引値	七四五〇	六六九〇
高値	七四八〇	六六九〇
安値	七四五〇	六六九〇

銘柄	後場寄	後場引
東株	一五六九〇	一五七一〇
東新	一七〇〇〇	一七〇〇〇

東京株式(短期)

豆新	當	中	先
	二四三〇		二四三〇

	東新	鐘新	日產	滿鐵新
寄値	一六七五〇	一三〇三〇	一三三五〇	六六五〇
引値	一六七七〇		一三三八〇	六六五〇
高値	一六八三〇	一三〇八〇	一三四三〇	
安値	一六七五〇	一三〇三〇	一三三五〇	六六五〇

大阪期米

	後場寄	後場引
當限	二五四九	二五四九
中限	二五八三	二五八八
先限	二五九四	二六〇三

神戶期米

	後場寄	後場引
當限	二四二五	二四二九
中限	二四六九	二四七七
先限	二四八五	二四九三

東京期米

	後場寄	後場引
當限	二五六二	二五六九
中限	二六〇三	二五九六
先限	二六〇七	二六〇五

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
六月	二三二五〇	二三三四〇
七月	二三四〇〇	二三三一〇
八月	二二八五〇	二二七九〇
九月	二二五〇〇	二二四四〇
十月	二〇九八〇	二〇九〇〇
十一月	二〇七一〇	二〇六〇〇
十二月	二〇六〇〇	二〇四九〇

大阪綿糸

限月	後場一節	後場二節
六月	四八〇〇	―
七月	五一一〇〇	―
八月	五一一〇〇	―
九月	五〇九〇〇	―
十月	五〇九〇〇	―
十一月	五〇九〇〇	―

第拾四期決算報告
貸借對照表(昭和九年三月三十一日現在)

借方(資產ノ部): 未拂込株金、土地及建物、什器及備品、材料品、石山、工具、現金及銀行預金、振替貯金、供託有價證券、資金付、他店貸、未完成工事、工事假勘定、農場假收、未收入金、假拂金、前期繰越損金、合計

貸方(負債ノ部): 資本金、法定積立金、別途積立金、借入金、工事假受金、未拂金、假受金、當期利益金、合計

當期利益金處分: 前期繰越損金、當期利益金、純益金、右純益金を處分すること左の如し 法定積立金、役員賞與金、社員退職手當基金、株主配當金(年八分)、後期繰越金

右ノ通リニ候也

昭和九年五月三十一日
大連市東公園町二十一番地
東亞土木企業株式會社

大石橋娘々祭の人出　果然百萬を突破

迷鎭山未曾有の盛況

【大石橋】滿洲國名物の一と稱せらるゝ娘々祭において國内に散在する三百の廟祭中その規模の雄大さ參詣民衆の夥多において將た又露店商人の集團と其の殷賑異觀において代表的のものなりとし自他共に許したる大石橋迷鎭山娘々廟の大祭典は定例により陰暦四月十八日（五月三十日）を中日とし前後一週日に亙り去る二十七日より開催された

鄕土的色彩濃厚にして且つは滿洲民族の心理に叶ふ唯一の民衆大祭だけあつて此の廟會期中平等に與へられた年中無二の解放の日として農民達は祭典目當てに播種も急ぎ了し一週日祭典中の糧食携行で一家族中打ち揃ひアンペラ作りのホロ馬車を仕立て何等拘束すらも無く肉體的に精神的に差別の境をも脱し而も王道の善政に惠まれて治安上何等の懸念なく一掃し心行くばかりの慰安と安息を貪ぼり陶醉其極致に達して居る遠くは新京安東山海關大連方面よりの參詣客多く例年に見ざる盛況で又附近沿線より臨時列車で送り込まるゝ群集山へ山へと運ばれ營口鐵嶺屯岳洲皇家屯方面より徒歩する者は迷鎭山に向ふ五ヶ村道に蜿蜒長蛇の如く三十一日迄五日間の延人員既に豫想百萬を突破し迷鎭山初まつて以來前古未曾有の人出で正に王道樂土其のものゝ姿である

無制限の人出の爲め中の日三十日は豫ろ民衆保護の立場から各保安機關當局は少からぬ憂慮をしてゐたが幸か不幸か午前九時頃より娘々祭つきものゝ降雨模樣で強風さへ交りたるため天候急變を憂ふる者の下山で約三分の二退去したる爲め何等の事故をも生ぜず至極平穩に樂天王道境を現出しつゝあり本年は特に參詣者多き關係に鑑みて民衆耳目の焦點たる演劇は日延べで六月三日頃迄歡樂の日を續ける筈である（寫眞は娘々祭全景）

興盛廟祭を狙つて紛れ込んだ匪賊群

五名鞍山署に捕はる

【鞍山】鞍山署では今回の鐵西興盛廟祭の大混雜に紛れ込んで一働きせんと企てゝ來た逃走匪賊七名を次々に逮捕拘留の上嚴重取調べ中であつたが、うち二名の證據不充分者を除き他の五名は左の通り何れも滿洲事變直後より匪賊に加はり當地近郊を荒し廻つては掠奪、放火、殺人、人質拉去等を敢行した匪賊なること判明したので直に滿洲國高等法院に引渡すこととなつた

一、賊名金山好事遼陽縣第八區大駱駝背、張喜泰（二七）は昭和七年八月匪首山林、東豐の配下に加はり七、八區部落一帶にて十數回に亘る匪賊行爲を敢行、屢々わが守備隊とも交戰したが三勝の歸順に反對して逃走銃器は第八區唐馬寨に隱匿爾來奉天城内に潛伏し居たるも先般來沙河にて苦力に化け勞働に就いてゐるが五月二十日廟祭に一儲せんとして潛入徘徊中逮捕されたものである

二、賊名大賊事遼中縣小北河街、梁趙斌（二〇）は元來大工職なりしも六年九月下旬張學良の弟張學成の募兵に參加、十一月遼陽第黑山高山子にて學成戰死せしためその後は朱青山の配下となつたが七年九月二十二日第六區汪家峪にて一團二百名を以て滿鐵地方課測量班佐賀一郎一行を襲撃したるも却つて護衛の守備隊に擊退され千山に逃げ込み後老北風と合流東北抗日救國軍司令部千二百名の一團に加はりその間前後八回の襲撃に參加したが、本年三月原籍地に歸り最近就職口を求めて來鞍したが天運盡きて發覺したものである

三、賊名東來事遼陽縣第五湖溝趙德君（二五）は農業從事中事變後村自警團に選ばれたがその後返つて匪首弊天の配下に入り、千山を根城として前後十回遼陽海城縣下を荒し廻つたもので製鋼所苦力にならんとし最近來鞍鐵西北七番町東陞客棧に投宿中を逮捕さる

四、賊名抗日事遼陽縣第八區曾家平項堡曾德州（二二）は昭和製鋼所大孤山苦力從事中七年七月匪首海寬の配下となり鐵西八家子村公所襲擊掠奪人質拉去せる時海城、鞍警保道路にて鞍山に出んとしてゐた鞍警保農務會長胡煥章同商務會長鄔憤五、第八區長王稚閣等の自動車を襲擊したが目的果さず、又九月四日湯崗子溫泉裏高粱畑に一味數名とともに潛入警備狀態を視察せんとして前後三回わが軍警と交戰し其他數回、昨年二月武器返し原籍地に歸り時期を待つうち廟祭となつたので潛入一仕事せんとせるところを支那芝居小屋附近にて逮捕さる

五、賊名東升事遼陽縣第八區曾家平項堡李金有（三四）は事變後匪首三勝の配下に參じたるもその後一味數名と脫走第七區張堂堡を根據として通行人其他を襲ひ良民に迫害を加へゐたるもので本年三月鞍山附屬地外八卦溝に潛入徒食中の者であつたが、前科判明し逮捕されたものである

甲種合格約三割

奉天の徵兵檢査成績

【奉天】奉天に於ける徵兵檢査は愈々三十一日から春日小學校講堂にて關東軍司令部から來奉せる小林大佐檢査官となり執行されたが同日は奉天在住者にて受檢者百九十名中甲種合格三十七名にて約三割を示し例年になき好成績である、又當日の受檢者は一人の遲刻者がなかつた事は非常時滿洲に於ける壯丁として非常に喜ばしい事である

鐵嶺市民の忠靈塔基金

【鐵嶺】過般來各區長に於て取纏め中であつた鐵嶺市民側の滿洲忠靈塔建設寄附金は三十日までに二百三十二圓三十四錢に達したので地方事務所を經て關東軍司令部に送金したが右金額は内地人のみでなく居住鮮人も應分に醵出し三十一圓四十四錢を寄附した、尚ほ關東廳吏員滿鐵社員は其の主管部署に於て取纏めて寄附する事になつてゐるので右金額中には加はつてゐない

機關區友會葬

【安東】二十九日第二列車に乘務中下馬塘驛で出發信號機に觸れ顚落して殉職した安東機關區機關方心得塚本健治氏（二十四歲、茨城縣新治郡斗利出村大字高岡出身）の葬儀は二日午後一時から安東機關區々友會葬を以て鎭江山臨濟寺で執行

東邊道縱貫鐵道は最早や國家的問題

視察から歸つて安東代表語る

【安東】東邊道縱貫鐵道期成委員會を代表して寬甸縣を訪問した島安東地方事務所長、瀬之口商議會頭、大津地方委員會議長、坂田地事勸業係長及び滿洲副總商會、農會代表等は三十日午後歸安したが各氏は三日地方事務所に參集し旅行の收穫について記者團に次の如く語つた

東邊道縱貫鐵道期成委員會の幹部が鐵道を引かうといふことは申譯ないことだし、先日寬甸縣の官民代表が我々を訪問して呉れたのでその答禮もあるし鐵道期成の志を同じくしてゐる各縣との聯絡提携を圖り、また安東市民と背後地農民が

握手 し日滿親善に資し度い等々いろ〳〵の目的で我々に滿鐵本社の經濟調査會と鐵道建設局から派遣された人を加へ總勢十一名が江口寬甸縣參事官の東道で二十八日朝自動車で出發したのだが安東縣境を過ぎ鳳城縣の二ヶ村を通り拔けて始めて寬甸縣に入つたのだが一番驚かせられ且つ感心したのは寬甸縣の道路の立派なことであつた、安東縣内の道路は國道建設局でやつたのだがたゞ路面だけよく出來てゐるだけで橋などは殆んど架けられてゐない、また鳳城縣は道路は昔のまゝであるが一歩寬甸縣に入ると實に立派な道路が出來てゐる、それは農閑期に農民の賦役で造つてゐるので

壯者 は勿論十五、六の子供から六十、七十の老人までが強制されて出るといふ氣持でなく喜んで働いてゐる樣子はまことに美しくも賴もしくも感じさせられた、我々一行は通過する各村で思ひ設けなかつた熱誠な歡迎を受け小學校の生徒が整列して迎へて呉れたところもあつたがこれは日本人が渾山揃つて來るといふのが嬉しかつたのだと東邊道鐵道の建設を非常に熱心に待望してゐることの現れであると思ふ、縣城では縣長以下官民有志、各團體、學校生徒等の盛んな歡迎を受けたが縣民の縱貫鐵道に對する熱意は非常なもので夥しい人が連判した請願書も出來てゐてもうすぐ要路に提出するといふことであつた、私共は鑛物の標本を見せて貰つたが砂金、銀、銅、鐵、鉛、石炭、石綿等豫想以上に

豐富 で良質なのには實に心強く感ぜざるを得なかつた、今日最も必要な重工業の原料鑛物を同縣だけでも殆んど網羅してゐる、現在日滿當局は熱河と北滿の開發に一生懸命になつてゐるが全滿中でも鑛產物の豐富なこと恐らく第一位でしかも手近な東邊道の開發を何故に閑却してゐるか不思議で堪らない、東邊道縱貫鐵道が單に安東の繁榮のみに止まるのなら局部的地方問題として大局の前に犧牲になるのも已むを得まいが我々は眼のあたりこれ等の貴重な鑛物が豐富に出ることを知つた上はもう地方的問題ではなく日滿兩國の重要問題となさゞるを得ない、桓仁縣は寬甸縣に劣らない

鑛產 を埋藏してゐるといふことであるからもう何は措いても我々が主張し日滿當局に要請してゐる東邊道の鑛產調査を一日も早く決行して東邊道の眞價と縱貫鐵道の重要性を認識して貰ふことの必要を痛切に感じさせられた、また作蠶樹が非常な廣大な地域に植栽されてゐてその立派なことも豫想以上であつた、要するに東邊道の經濟價値を速かに認識して貰へば不自然な東邊道閑却の傾向もなくなり縱貫鐵道實現の機運が大いに助長されることゝ思ふので鑛產調査團派遣の一日も早く實現されることを熱望する

なほ期成委員會幹部は更に近く桓仁、通化各縣を訪問して縱貫鐵道建設運動の擴大強化に努むる筈である

大集團匪を擊滅　安圖縣城救はる

滿洲國軍の奮戰ぶり

【奉天】滿洲國軍の入城によつて全く危機一掃された安圖縣城はその後滿軍一部城内殘留と共に主力部隊は縣警察隊と協力附近群小匪賊の討伐に着手し連日に亙つて各地で交戰が行はれてゐるが三十日は早朝より省警務廳より派遣された飛行機二臺出動し陸上部隊と連絡爆擊に當り同日午前十一時ごろ討伐主力部隊は大沙河子北方附近において秦文元の率ゐる匪團主力部隊四百名と遭遇二時間に亘つて猛烈な交戰の末これを擊退した

この戰鬪において匪團は二十數名の死傷者を遺棄して潰走し一千餘名を誇つた滿石の大集團匪も飛行機の出動によつて一たまりもなく四散安圖縣城も全く平穩に歸した

防空協會支部鞍山に創立

大體十四日頃發會式

【鞍山】滿洲防空協會鞍山支部の創立については既報の如く既に支部長以下の役員も本部より依囑されて會員募集その他目下發會式の準備を進めつゝあるが、日取も大體十四日午前十一時からといふことに決定したのでいよ〳〵鐵都の空を護れの標語下に左の通り盛會式を擧行同時に夜は七時より富士小學校講堂において關東軍平田航空參謀の防空に關する講演會引續き防空映畫會を催すこととなつた

着席、開式、日滿兩國旗掲揚式（昭和製鋼バンドにより國歌合唱）設立經過報告、支部長挨拶、來賓祝辭、祝電披露、閉式、支部長挨拶、萬歲三唱、散會

なほ當日は軍隊、警官、學生兒童其の他各機關團體一般市民參列の筈であるが防空協會の發會式だけ特に正午頃式場上空に飛行機飛翔宣傳ビラを撒布するさ

羅津に電話　而かも自働式で

加入者の受付開始

【羅津】飛躍發展の途上に在る羅津に市内電話なく不便甚だしく昨年來商工會が先鋒となつて當局に架設を要請して居たが愈々豫算も確定しモダーンな羅津郵便局舍も本年十一月には竣成する運びとなり全鮮の主要都市に魁して羅津は一躍便利な自働式電話を架設することゝなり六月一日より同十五日までに加入者は羅津郵便局に申込むことゝなつた

羅津の人口　二萬を突破

【羅津】昭和八年十二月現在羅津の人口は内地人戶數一、三七〇、人口三、四七四、朝鮮人戶數二、六二〇、人口一一、六七一、外國人戶數二二、人口一一七、合計戶數四、〇一二、人口一五、二六二であつたが昭和九年五月現在では内地人戶數一、八五〇、人口四、六二五、朝鮮人戶數三、四八〇、人口一八、四〇〇、外國人戶數七〇、人口二〇〇、合計戶數五、四〇〇、人口二三、二二五で僅か五ヶ月で戶數において一、三八八、人口は七、九六三といふ飛躍的增加振りでこれを府縣別にすれば北海道の一一〇戶五〇〇人を筆頭に熊本縣九五戶二七〇人、山口縣九四戶二九三人廣島縣九〇戶三〇七人、長崎縣八八戶二六六人が白眉格で最少が沖繩の二戶四人である

津村夫妻の遺骨歸る

【撫順】既報建昌營で匪賊の襲撃になうけ慘死した津村夫婦の遺骨は三十日夜次男の實氏に抱かれて歸撫したが、實氏は淚をうかべ語る二十四日悲報に接したので驚いて直ちに出發しましたが、建昌營といふところは山海關から五十里ほどもあつてトラックで十時間ばかりでしたが着いた時には既に兩親は軍隊の手で手厚く佛になつてゐました、父母は昨年十月ごろ建昌營に出掛けたのですが全く夢のやうです

營口大屋子日新昌の清算

【營口】營口の大屋子日新昌の整理清算は着々進捗して居るが同店の整理に關し營口の受ける損害は殆ど皆無と言へる程で關つて市況に及ぼす影響は平穩である、尤も同店は過爐銀の法的廢止にさしたる苦痛はなかつたが近來の不況に振はず加へてハルピン外二、三ケ所支店の成績惡く又南支との關係等が大なる爲したが清算完結の上は…の道を講ぜられるものと…

差立便增加

營口局一日より實施

【營口】昭和七年十二月に郵便物差立時間改正された結果、最終差立便は營口驛發午後八時の爲め午後六時に取集に局を發し夫れ以後は翌朝廻しとなり頗る不便を感じたが昨年八月局長着任後遞信局に對し一便增加方申請中のところ之れを容れられ六月一日より午前一時四十五分發列車に搭載する事に決定し市内思齊寮前、旭街、東亞煙草前、舊市街國際西營業所前を除く（午後五時以後郵便物少數の爲め）以外の郵便函に對し午後七時五十分局發の取集を增さになり午後八時迄に投函のは夜半の列車で送られる事となり…

（以下判讀困難）

製鋼所建設の一年

大掛りな設備

素晴らしい製鋼計畫

【鞍山】昨年四月政府の認可を得た昭和製鋼所の事業計畫の骨子は從來の鞍山製鐵所の施設其の他一切を基幹として、これに製鋼壓延並にその附帶設備を新增設して年間銑鐵四十萬噸鋼塊四十萬噸を生產しその最後の販賣製品として

品目	數量
銑鐵	七九、六〇〇噸
鋼片	二〇〇、〇〇〇噸
軌條及大型鋼材	七〇、〇〇〇噸
小型鋼材	三二、九〇〇噸
薄板	三〇、〇〇〇噸
計	四一二、五〇〇噸

を製造しようといふのであつて、一方その製品販路も銑鐵の一部及び鋼片の全部を内地市場へ軌條その他鋼材は主として滿洲地元用に供給することになつてゐるわけであるが、從つてその製造設備能力等も將來における製品の需要情勢や經濟的能力單位等を考慮して分塊工場、軌條工場及び小型工場ともに相當の餘裕が設けられてあるが、これは左の製鋼所になつてからの事業計畫、設備能力と現存製鐵所の生產能力との對比表を見れば一目瞭然とするであらう（單位年產、萬噸）

主要設備	事業計畫能力	現存能力	擴張能力
銑鐵工場	四〇（最大四五）	三一	一四
骸炭工場	四六（最大）	三一	一五
製鋼工場	六六	四〇	二六
分塊工場	四〇	—	四〇
軌條工場	五〇	—	五〇
小型工場	一〇	—	一五
薄板工場	五	—	五
硅石煉瓦工場	三	—	三
貧鑛採鑛所	一	—	一
富鑛採鑛所（大孤山）	一四〇	八〇	六〇
（弓長嶺）	二〇	—	二〇

さて製鐵所の設備に對し擴張を要せぬものは銑鋼爐のみで他は何れも約二倍の設備能力に大擴張が施され製鋼分塊壓延の各工場及び附帶工場並に弓長嶺採鑛所等は今回全然新たに增設せらるゝもので あるが、上記の外電力設備は五十サイクル二一、五〇〇キロワット發電所が新設され又撫順からも約二五、〇〇〇キロワットの供給を受くる筈であり、水道設備も水源池設備等の大擴張が行はるゝ次第であり以て昭和製鋼所の建設工事が如何に大掛りなものか想像が出來るであらう

（寫眞は分塊壓延工場機械据付工事）

各種工場の設備進捗の概況

科學文化の一大偉觀

以上の如く製鋼所の事業計畫を實現するには舊製鐵所の設備に非常なる新增設を要するわけであるので同社では昨年四月の認可直後において直にその建設準備に着手したわけで建設期間二ケ年を大體において次の二期に分ち先づ銑鋼增産に必要なる設備即ち鑛山、選鑛工場、骸炭工場、熔鑛爐、電氣水道等の諸設備はこれを昭和九年十二月末迄に完成、十年一月よりそれ〳〵增産の豫定とし次に又製鋼關係諸設備即ち製鋼工場、分塊壓延工場、外各種成品工場、軌條工場、附帶設備はこれを明十年三月末迄に完成して四月の新年度早々より前者と相俟つて所謂銑鋼一貫作業を開始することゝしかくて同社はこの建設根本方針に基いて昨春より工事に着手した譯で主要設備の基礎工事は同年は各工事とも建築の据付までを大つて目下上下銳意進捗に努めつゝあ時に先般偶々壓延ックや不良部分の遺憾であつたが何る超大工事と非常あつたゞけ其間にの苦心努力一方ながが、今やこれ等その經過工事殆ど順調に進行しつゝあ總工費四千萬圓と大工事の而も建設昨今の製鋼所構内ハンマーとシャベり燃燃たる近代科觀である

◆採鑛設備

弓張嶺鐵鑛採鑛所は遼陽驛の東方約三十七粁の地點にあり、新…

（以下判讀困難）

◆選鑛工場

◆製鋼工場

◆骸炭工場

◆銑鐵工場

◆製品工場

◆窯業工場

◆動力工場其他

◆分塊工場

…完了し六月より煉瓦積に着手してゐるが十二月末全部完成の筈である

前者同樣にて既に基礎工事鐵骨の組立をも完了し…二月末より諸機械据付…

（以下判讀困難）

熱河省阜新縣泡子站の農務會々長何鈞衡氏は、農村發展の爲めに身を犧牲にして盡力し、豆價の暴落に遭へば繊作の利を勸め、事變に因る教育の荒廢を挽回し、爭事あれば諄々自ら仲裁の任に當り節約を力說して風紀の善導に努め俸給は未だ曾て一錢だにも手を觸れず、盡くこれを公益に投げ出すといふ至誠に縣民は感激し、近く匾額を贈つて記念するといふ、王道の體現者に在り矣。

◇

ハルビンでは近く暴利取締令を出して徹底的に實施する由、果物の小賣値段の如き、普通原價の二倍乃至三倍であるといふ。

◇

市街線化計畫中の新京では、街路樹の管理に關して各戶の商家をして其責任を負はしめることにするさ。

◇

海拉爾を中心とするホロンバイル六旗の旗長會議は、二日より會議開催中なるが、外蒙の獨立がその主要事項で爲め接壤の外蒙旗長も列席した…

◇

支那古美術及古書の國外流出に關しては、數年來相當取締られたが、南京の内政部はまたが嚴重にすべく全省各省へ通牒を發した。骨董屋と古書屋の〳〵流質あがつたり。

◇

（以下判讀困難）

錦州に暴行

工場より出火

會と催し

沿線往來

（以下判讀困難）

家庭

切花の長壽法

いよ〳〵花の豊富な季節です　かうして御覧なさい

生花！盛花！投入れ！何にしてもらつても不自由のない花の豊富な季節になりました。花屋さんの店を覗くともう見事な鐵砲百合、鬼百合、河骨、ドイツ菊などが内地から來てゐますし市内の伊勢町や連鎖街、沙河口市場附近の夜店も山うつぎ、山あざみ、マガレット夏菊、芍藥、蓮などが美しい彩化粧して貴女方の散歩の足をとめるでせう……て折角の美しい切花をどうしたら長く保たされるか？幾久屋花部の豊水園井田豊治氏に水揚其他の注意をきゝませう。

水揚げの秘訣

夜店物は新しいのを選べ

専門 の日本人の花屋で賣つてゐる切花は大抵チヤンと水揚げがしてありますから、お持歸りの際強い日光や風に當てたり長い時間持廻つたりしないでなるべく早くおうちにお持歸りになつて冷たい水につけて置き、使ふ時に適當な長さに切つて活け込めばよいのです。夜店ものは心得のない滿洲人が矢鱈に切つて水を打つかけたりして隨分いたんだものがありますからなるべく丈夫さうな切口の新しいのを選び新聞紙にでもよく包んで風に當てぬやうに持歸り水揚げの必要なものはそれ〳〵水揚げせねばなりません。若し

直接 花壇からお切りになるのでしたらなるべく日中を避けて朝の五時か六時頃、若くは日沒後に切らないとうまく水を揚げません、これも切取つた後はなるべく風を當てぬことが肝腎です。水揚げ法は花によつてそれぞれちがふのですが、特殊なものを除けば鍋に熱湯を煮立て、花や葉に湯氣の當らぬやう注意して根元だけを三十秒乃至一分位熱湯につけ直ぐ引揚げて冷水の中へつゞこんで一時間か二時間置くとシヤンと水を揚げます。一寸厄介なのでは

アザミ＝鹽と硼酸を混ぜて火にかけ焼鹽のやうにしたものをアザミの根元を叩いた所にまぶしそのまゝ十分ほど放置し、後幹の六分目まで冷水に浸す。

菊＝根元を五分程切り、硼酸を瀬戸物で三分位煮詰めた中に切口を一寸浸してそのまゝ二十分程置いてから冷水につけておく

芍藥＝根本を一二寸叩いて鹽を充分まぶし十分ほど置いてから熱湯に一寸浸して直ぐ冷水につけて約二時間おく。

河骨＝柿の澁（釣具店にあり）五勺に水四合を混ぜたもの、或は緑茶の煎じ汁を生花用の霧吹きに入れ河骨の切口に當て注射する。水蓮も同様

蓮＝は切り方が一番大切で水中で安全カミソリなどの鋭い刃が糸を引かぬやう水際の一寸下から切りとり霧吹に水を入れて注射する

活けた花は毎日水をとりかへる際に指先で根元のヌルヌルをおとし朝夕二回位づつ全體に霧を吹きかけてやると大變長保します。

"母の日"をもつと實質的に

主催各團體が相談

六月二十五日！皇太后陛下の御誕辰を期して催される恒例の「母の日」も追々近づきますので、五月三十日午後一時から大連市役所内で第一回の相談會が開かれ主催各團體から長瀬市社會課長、松澤社會事業協會主事、清水滿鐵社會係岩光、野村兩婦職幹事の五氏が顔を集めて協議の結果、例年の「母の日」の催しが兎角お祭り氣分に走つて折角の「母の日」の根本的精神から反れる傾向があるので、本年はその實質的方面に主眼を置いて「母の日」の趣旨を充分徹底させやうといふ事になりました昨年迄は各中等學校、小學校の生徒に「母」に對する感想文を書かせその中から優秀なるものだけを發[illegible]は全生徒に下手は下手なりに上手は上手なりにその思ふまゝを飾りなく書かせこれを當日各自の手からそのお母樣に捧げて感謝の意を表させたいといふこと、又例年協和會館で催されてゐた餘興つきの母の會を取止め、市内全小學校でお母さん達の座談會を開催することゝし、この二件につき近く主催側から各小學校長に援助を願ふことゝなりました。

魚の骨を軟く

魚五百目に對し梅干三個程入れて水と共に弱火でよく湯煮し、軟かくなつたら煮湯を捨て、醬油、砂糖で味付けて煮上げると骨が全く軟かになつてゐます。

スポーツ用語辭典

ストライク（野球）次の場合をストライクといふ、投手が定位置に立ち打者に面して投げた球で地面に觸れる前に本壘上の何れかの部分を通過し打者の膝より低からず、またその肩よりも高くないものをいふ

ストラツク・アウト（野球）三振の事

スパイク（全競）競技の時用ふる靴の略稱で滑らないやう靴の裏に釘又は皮製の釘樣のものをうちつける

家庭顧問

神經衰弱は治らないか

【問】私は二年程前から夜四時頃までねむれず漸く明方になつてねむります、しかも熟睡は出來ず始終いろ〳〵な惡夢に惱まされます、食慾がなく從つて少し考へ事が過ぎたり運動がはげしかつたりするとめまひを感じ腦貧血を起した事も度々です、神經衰弱は醫者にかゝつても治つたといふ話を聞きませんが如何したらよいものでせうか、療法をお教へ下さい、唯今午後一時から十時まで或る商店に働いてゐます。（大連一店員）

【答】**治らない事はない　必ず治るものです**　神經衰弱の療法としては第一に「神經衰弱は治癒せぬ疾」と思つてゐる」等の所謂強迫觀念を捨て、原因を明らかにし精神的に安靜を保ち、一方自分の氣分を他方に轉換する樣に力める事が必要です。身體的療法としては生活を規則正しくし、夜更し、過度の勞働、讀書を避け濫酒、煙草を禁じ、茶、珈琲等も程度を越えぬ樣に注意せねばなりません、又肥滿療法、空氣療法、日光療法が必要で、肥滿せる者には減食療法が有效な事があります。物理的療法には水治療法があります、即ち冷水摩擦、灌水法、全身浴、半身浴、持續浴等があります。藥物療法には原因となる可き疾患に由りて治療法も違ひますが強壯劑としてストリヒニン、ヒニン、砒素、鐵劑等あり鎭靜劑は一般神經衰弱者に好んで用ひられます。不眠には先づ就寝前に温浴、足部の冷水浴、頭部、頸部罨法が有效で葡萄酒の一杯も亦效果が有ります、これでもなほ効果なき時に初めて催眠劑を用ふ可きで、それにはアダリン、ベロナール、ルミナール、カルモチン等がありますが藥劑師又は醫院の調製に依らねばなりません、又床に就いてからは眠らんと努力する事を止めて安靜にしてゐなければなりません、神經衰弱は必ず治癒すべき疾患であります。（土井三郎）

涙が出て困る

【問】十八歳の青年です。外に出て遠近の景色を眺めると非常に眩しくて不便を感じてゐます。小さい時から風が當ると直ぐ涙が出て行先の見えないやうなことが再々でしたどんな眼病でせうか。（大連A生）

【答】**遠視ではないか**　外眼病（トラホーム、結膜炎等）が無ければ屈折機の故障殊に潜伏性の遠視があるのではないでせうか。取敢ず案外によけのクルックス球をかけたら幾分よろしいでせう。專門的檢査を受け適當な眼鏡をかけるに越したことはありません。（三根辰一）

防空家庭教科書　第二課

屋根の下にも防壘

滿洲電信電話會社總裁　山内靜夫氏談

燈火管制　家庭において先づ警報を聞いたならば戸締りを良くすることです、夜であつたならば光が外に漏れないやうに戸を閉ち、又豫め用意して置いた黒い布れなどで窓を閉ち、戸外の電燈等も全部消燈するやうに町の防護團から注意がある筈です、大きな家庭であつたならば窓が澤山ありませうし、大切なものだとか、家族が避難をするに部屋を決めて、せめて其處の窓だけでも嚴重に遮蔽でも張る位なことをしたらよからうと思ひます、爆彈か燒夷彈か落ちれば木造の家屋は忽ち火災が起ります、消防隊も活動するでせうが家庭においても注意をすることが肝腎であります、爆彈が市街に落ちますと場合に依つては水道の鐵管とか、瓦斯鐵管とか、或は電燈線、電話線を切られて了ふ場合がありますから家庭生活上必要なものが全部役に立たぬやうになるといふことも覺悟して居らなければなりません、しかも「今日は毒瓦斯攻撃だ」といふやうなことが豫め分つてはゐないのですから全く用心に困るのです。

毒瓦斯禍　毒瓦斯の場合には破片が飛込んだりするやうな憂ひは少いけれども、空氣より重い毒瓦斯がだん〴〵下へ下へと流れ込んで來て市街一面に漲るのですから、これを防ぐのは非常に厄介であります、澤山の人の集團して居るところは若干の部屋を毒瓦斯の浸入しないやうに完全に密閉して其處へ一時逃げ込んで毒瓦斯攻撃の終るのを待つといふ事も出來ますが、小家庭ではそれが出來ませんから、防護機關から配付された防毒覆面を用ひる外、成るべく窓や戸口の少い部屋を選んで目貼した部屋を拵へて置き其處へ逃げ込む位がせきの山であります、防毒覆面といつても安全なものは隨分高價でもありますし又場合に依つては市民全部に渡して貰ひ得ないこともありませうから、それが得られなかつた場合には簡易な防毒法とか、消毒法を心得て置かなければなりません。

簡易消毒法　それには濕布と、石灰と、また普通の瓦斯狀の毒瓦斯なるものが薄いときは濕手拭で鼻口をおほうても一時的には防げませう、液體狀の粉末で皮膚に觸れるとたゞれを生ずるやうな毒瓦斯ですと一番危險なときですから顔に濕布を當てゝ一時防護する、又その液體が溢れたところには石灰をまいて之を消毒する等の方法位は心得ればなりません。しかしこれ等の色々の毒瓦斯の防護法だとか、消毒法、又爆彈に對する窓や入口の對策などは、だんだん都市の防空法が研究されて行つたならば市民教科書として市で發表をしたり、印刷物に依つたりして市民が平常教育されるやうになりませうし、戰時には又特別の市民教育が行はれればならないことゝ思ひます。（寫眞は毒瓦斯防護マスク）

學藝

童話の重要性に就て【中】

山川亮

單純に見える子供の世界は、決して吾々が考へてゐるやうに單純なものではない。子供それ自身は總てを單純に解決して生活してゐるが、だからと言つて單純に解決されるもの自體が、決して單純なのではない。子供の世界で扱はれてゐる感情の豊富さ、感覺の鋭敏さ、そして想像の無限大なのを見よ、子供の生活の中では動物が人語を喋り、植物が人格化されても、それは子供にとつては何等の矛盾ではないのである。子供の生活には物の始まりの一から、天文學的の無限大の數までを含んでゐる。子供はそのまゝに一個の宇宙である、絶えず創造し發展して行く世界の主人、それが即ち子供である。神の創造と云ふ神話を吾々は持つがこの神の創造の話を具象化してゐるものは、即ち子供の世界、子供の生活である。大人の世界には經驗の堆積はある、その經驗から出發した判斷はある。然しそのために創造は次第に姿を消して大人の世界を干乾びさせてゐる。大人の世界が經驗の積み重ね以外の何ものでもない時に、子供の世界は創造に始まり創造に終つてゐる。大人の世界には「二二が四」の他に計算する方法を知らないのに、子供の世界では「二二が六」でもあり「九」でもある計算法が存在する。そしてそれが子供の心にとつて少しも無理でもなければ不思議でもない。それは子供は模倣をしないで創造をするからである。創造のあるところに美が生れる。直觀のあるところに自由がある。だから「子供はこの世の中で花や音樂を共に美しいもの」に數へられるのだ——かう我々は結論をつけやうと思ふのだ。

そこで、この子供の世界を文學に描いた童話に就て、我々の考へてゐる點を次に述べて見やう。それには二つに分類して述べやうと思ふ。

即ち（一）は子供に與へる童話であり（二）は大人に與へる童話である。

そうしてこの二つのものゝ結びとして、今後の童話即ち新興童話に就ての基礎的なものに觸れてみたいと思ふのである。

子供に讀ませる童話——この中に含まれるものは既に相當にあると思ふ。先年、逝去された小波山人の童話全集などは、その最も代表的なものである。特に少年文學と銘うたれたものなどは、子供の讀物として相應しい。それは筋の單純、そして常に男性的とでも云へるリズムを持つてゐる、讀んでゐて明るく上品な感じを受ける。その根本的なものは作者自身の意志的な性格の反映であらうと思はれる。日本の數々の童話作家群の異色である。惜しいことに我々は既にこの老大家を失つた。その統系を承ぐ人達の中で、眞にその後繼者たり得るやうな人があるか何うか。

小波山人の我國童話界に寄與した大きな功績は、その古くから我國に語り傳へられた物語の集成並びに東洋諸國の傳説を蒐集した努力であらう。日本昔話、日本お伽噺、東洋口碑大全と、この三つの大著述は何人もその功績を認めなければならぬ。我國童話界の金字塔である。これはドイツのグリム兄弟の作のみが比肩し得るものである。

然し我國の童話はこれを以て、總ての仕事が終つたのではない。寧ろ小波山人のこの事業は、我國童話界の基礎工作であつた。我國の童話界は、この三つの大著述を足場として新しい童話の創造に向はなければならなかつた。明治の童話文學が、徳川期より昔へ昔へと溯つて、我國の口碑傳説の發見にあつたとすれば、大正以後の童話文學は童話の創造そのものでな

話題　魚の聽覺

加州の工業大學のペートマン博士は魚の聽力について研究中であつたが此程成された報告によると、魚も微弱な聽覺を持つてゐる處で空中から與へられたる音響は非常に僅か水中に傳はるために試驗するのに甚だ困難であつた事が觀測を誤る大きい原因になつてある（それが爲に水中に置かれたる振動盤に依つて水を振動する樣になすか或は空中に於てベルを鳴らす時は魚はすぐ聞えるものであるから魚釣をする人が如何に大聲で叫んでも釣には影響がないが、船に乗つて船端を叩けば其音は直に魚に傳はる爲めに附近に居る魚は皆逃げ出してしまふといふ實際問題の説明をなしてゐる

蚊（中）

苅田仁

さて、彼等の生ひたちを語ると受胎した蚊の女性達は、胎内の卵が成熟すると

棹させば葦の花に飛ぶ蚊かな　盧子

大抵朝早く未明の二時頃から六時頃の間に、水溜りか又は緩い流れの水上に飛んで行つて、直に水面に産卵するのである。すると此の卵が二日か五日を經て、幼蟲即ちボーフラになるのである。

孑孑や蚊になるまでの浮き沈み

孑孑は、四回脱皮して、蛹即ち「まるぼうふら」又の名「かみなりむし」となり、四日乃至七日を經て殼が出來、殼を出て、一人前いや一疋前の蚊となる。

こういふ風に蚊は小兒の聞すべて水中で育つのであるが、しかし決して澤山の水は要しない。只卵から蚊になるまで、日本の氣候では大抵十日から十五、六日かゝる。その間乾かない位の水があれば、その中で孑孑が充分育つのである。

たとへば野原に捨てられた貝殼の中とか、塵埃捨場の傍に轉たはる陶器の空罐、さては墓石の凹み又は單子葉植物の葉の重なり合へる葉の間の水中など、人間共の知らぬところにも、容易に生ひ立つのである。

ところがこの孑孑は水中の微生物を食うて生きてゐるのであるが同時に人間と等しく空氣を呼吸せねばならないのである。それには水中で絶えず「三才圖會」の文句にある通り「一曲一直如振繩狀」となつて、人間のいはゆるダンスを試みてゐるのである。

孑孑が時に水面に浮んで、氣門を水上に突出し、それによつて空氣を吸ふ必要がある、この秘密をどうしてか、人間が嗅ぎ出して、石油を水に流し、孑孑の氣門を塞いで、窒息死をさせやうと計畫してゐる。實に油斷も何もあつたものではない。

滿日柳壇

花見　編輯局選

飾けるだけ飾いて獨身の花の山　山城鎭　山元　不動

討匪行花咲く嶺に一休み　周水子　周　步

安兵衛を巡査が起す花の山　大連　今宮　樂靜

その後が單獸になつた花見宴　大連　三谷　一伸

折詰の二人が癪な花の下　大連　尾道九十八

喧嘩した相手へ飲ます花見酒　山海關　高杉無智庵

ルンペンに花見ばかりの日が續き　同　松尾小女郎

休業に慰安花見の詫びをのべ　同　上倉　郁一

許婚二人は母と花見會　撫順　松浦　蝶古

〇三　才

（人）裏面にて來るとこでなし花の山　山海關　田中　出水

（地）花見酒つく〴〵持參金を悔い　大連　宮部　朱石

（天）片育ち花をすげないものに見る

滿日柳壇課題

▽題「防空」「浴衣」「夜店」
▽六月十五日締切（句數無制限）
▽各題必ず別紙のこと
▽本社編輯局川柳係宛のこと

新刊紹介

滿洲事變秘史（津田元德著）著者は元旅順師範學堂長で教育界の大先輩、（一）鐵路一爆、世界を震動せしめた滿洲事變秘奥の眞相如何（二）五千年來、天下の不可解たる支那國情將來の豫斷如何（三）近き將來、列強の大問題たる危險線突破の名案如何、之等の大問題を始め外交上、經濟上、教育上得難き史實實例を網羅し刻下の世相と歐米の大勢とに鑑み、錬想熱血を注いで精確深刻の健筆を揮はれたもので、我が國民は素より滿支兩國人士亦必讀の一名著である。更に附錄として珍らしき支那若返り法の詳細研究もある（發行所大連市紀伊町滿洲文化協會、價二圓八十錢）

改造（六月號）數多き日本青年學徒と知識階級な讀者にもつ本誌は、常に眞摯なる態度を以て改造社月刊雜誌中最大の努力を傾注してゐる、その雰圍氣が本誌の全紙面に表はされゐる、今月の論説としては小泉信三氏が亡き福田德三博士を偲びつゝ筆をおろした「價値、價格、勞働」をはじめとし、向坂逸郎氏の「ソシアル・ダムピング」などがある、その他菊池寛氏の「日本英雄論」また高津正道氏は傳統に誇る佛教界に異狀なる波紋を描いた「東西本願寺の解剖」なるものして忌憚なきメスを揮つた記事が一段と光彩を放つてゐる、（發行所東京芝改造社、價六十錢）

キング（六月號）日本で一番澤山の讀者をもつてゐると言はれてゐる本誌は、相變らず家庭向の雜誌としていろいろの材料をぎつしりと詰め込んで讀者を引きつけて行く、今月は「映畫小説傑作集」と「大家新人讀切大傑作選」とを並べて初夏の新味を加へてゐる（發行所東京本郷大日本雄辯會講談社　價五十錢）

南蠻彩船 (146)

鈴木氏亨作　布施長春畫

渦紋 四

「變なことを伺ひますが、堺の代官石田殿澄樣とは、何か深い關係でもおありで御座いますか?」

彌陀王は、先刻戸の外で會つた時抱いた疑問を、訊ねてみた。

「いや、別に深い關係とても御座りませぬ。わたくしの持參いたして居りますものを、彼等が奪ひ取らうといたして居りますだけで……」

「貴方樣の御攜帶遊ばしたものを?」

彌陀王は、改めて、商人を見直した。

「たいしたものでは御座いませぬが、ちと變つて居ります品で!」

「たとひ、如何なる品にせよ、上にある者が下々の者から掠奪いたすとは、怪しからぬ所業でございます……だから、わしは豐家の天下は嫌ひぢやと申しますのぢや。失禮でございますが、奪ひ取らうといたしましたものは、世の珍器にでも御座りまするか?」

「ハ、、、。別にそのやうなものでもございません。……」

「なんにいたせ、上に立つ者が暴威を振ひますことは、古往今來、今日ほど酷い時代はなからうかと思ひます。實に善政滅び惡政跋扈る世で御座いまする」

彌陀王にしてみると、同じく豐家を呪ふ者の存在は、一族を增やし、新らしい仲間を作ることであつた。彼はそれだけ意を強うすることが出來て、意外な商人にめぐり會つた時のやうな氣がするのだつた。

「不思議な御縁で、今宵計らずも御厄介になることになりました。何とも申上げる御禮の言葉もございませぬ。……」

商人は傷が疼くか、打たれたり突かれたり、蹴られたりした傷痕を、靜かに撫で廻してみたり、痛む腰や背を擦つてみたりした。

「傷は、如何で御座いますか?」

「別に、大したことでも御座いませぬ。今宵一夜を過せば明日は大分よくなることで御座いませう」

「遠慮には及びませぬ。われわれで出來ますことなら、なんなりといたします故、ゆつくり御滯在なすつて御靜養なさいませ」

「大變靜かな所で、結構な御住居で御座います。浪花の町から大分離れて居りまするか?」

「堺街道から、少し南に入つて居りますが、森一つ越しますと、四天王寺はぢきで御座います」

「では浪花の町へ參つたも同然で……」

「それほどでも御座いませぬが……」

爐にかけてあつた鍋が、ぶつぶつ煮え立つた。

五月野は、流しの方で膳拵へをしてゐたが、ふと眼を上げると鍋が吹いてゐるので、手をふきふきやつて來た。

彼女は自在鍵から、鍋を外して鐵瓶をかけた。

「何も御座いませんが、お粥も煮えましたから、一つ召し上つて下さいませ」

と、云ふと、古びた足高膳を持つてきて、商人の前へ置いた。

「ほんのお口汚ぎ、粥が入つて居りますから、不味う御座いますが、どうか召し上つて下さいませ」

彌陀王もすゝめた。

「では遠慮なく頂戴いたします」

商人は、五月野が盛つてくれた茶碗をとり上げると、立ち上る湯氣をさましながら、甘さうに啜つた。

「お父樣。お父樣!」

近くの部屋で楓の呼ぶ聲が、けたゝましく響いた。

日本棋院 春季大手合戰譜

先 四段 鈴木ひで子　二段 藤澤庫之助

制限時間各七時間（但し一分以内は切捨）

—【3】—

黒	白
●四一よノ十二(43分)	○四二かノ十四(8分)
●四五たノ十二(6分)	○四六れノ十一(23分)
●四九かノ 九(8分)	○五〇わノ十一(31分)
●五三よノ 九(2分)	○五四ろノ 十(32分)
●五七はノ十三(3分)	○五八よノ 七(21分)
●四三かノ十七	○四四かノ十八
●四七よノ十一(2分)	○四八たノ 九
●五一をノ十二(2分)	○五二わノ十二(8分)
●五五りノ十八(22分)	○五六かノ十六(1分)
●五九たノ 八(4分)	○六〇たノ 七

所要時間累計（白三時二十七分　黒二時五十分）

對局者の言葉

(黒)十九以下の四子が直接には動き出す事が出來ず、四十一、四十五、四十七位のことで一方は四十二と取切られ、左邊も白に四十六、四十八と打たれるに至り、黒はさつぱりつまりませんでした、どこまでも二十九、三十一の打ちすぎがたゝつてゐるのです

(白)四十二で取切られる事になつては少くともこの方面だけは旨いと思つてゐました

(黒)四十九を五十三にツケるのは白五十九とノビられても、或は又白(よ八)黒四十九白五十九となつてもいづれも白(た五)のハネ出しが物を言つて來ます—

(白)五十は黒五十一のノゾキを利かされ、更に五十四と補つてゐなければ不安が感ぜられるとするとざんなものでしたか、但し五十を省略すると黒(ろ十二)もしくは(ろ十三)その他種々利かされる工合から中央への白の進路が斷たれ從つて右上方面の黒模樣の擴大する事をきらつたのです—また五十四を怠ると黒(ろ十四)白(ろ十三)黒(た十三)そして白(た十四)黒(ぬ十五)白(り十四)にツギ黒(ろ十四)の劫トリとなる所に小さからぬ不安があります

(白)五十六をはぶくと黒(よ十八)と單にハネ出されてこまる

(黒)五十七は前の五十五と共にこれで右下隅を手つかずにそつくり地にしやうといふ腳か斂ばつた手ですが—

(白)五十八、六十には少し思ひちがひしてゐる事もありました、しかし五十八を五十九にノビられても滿足できなかつたのです

戰の跡

◇白四十八までとなつては左下方面の白地は五十目近い、然るに黒は右下隅方面が完全な地と定まつた譯ではないからその不利は蔽ひ難いものがある◇白五十、五十二、五十四は中央へ進出しつゝ下方の白地をも確めてゐるのだから一概に非難は出來ない◇白五十八、六十に就いては明日の譜に現れる結果を待つ事にしやう

ラヂオ

大連（JQAK 六五〇KC）六月二日

午前の部

六・〇〇 ラヂオ體操
六・三〇 ラヂオ體操

午後の部

〇・五〇（東京より）野球試合實況（東京大學野球聯盟リーグ戰）＝明治神宮外苑野球場より中繼＝法政對慶應（擔當アナウンサー山本）
五・三〇 獨逸語講座「テキスト（新）第十一課」大連語學校講師荻桑
六・〇〇 ニュース、職業紹介事項
六・三〇 子供の時間（一）コドモノシンブン（二）お話「東郷元帥のお話」大連童話協會香川岩雄
七・〇〇（東京より）常磐津「白井權八小紫廓の仇夢」淨瑠璃常磐津節太夫、淨瑠璃常磐津春字太夫、淨瑠璃常磐津錦壽太夫、三味線常磐津政壽郎、上調子常磐津文七
七・三〇（東京より）ピアノの管絃樂＝新交響樂團練習所より中繼＝（一）ピアノと管絃樂「ハンガリー幻想曲」リスト作曲（二）管絃樂劇的物語「ファウストの劫罰」よりベルリオーズ作曲（イ）風の精の踊り（ロ）ハンガリー行進曲（ピアノ）土井正浩、日本放送交響樂團、指揮ニコライ・シフエルブラット

奉天（MTBY 八九〇KC）六月二日

午後の部

〇・五〇 野球試合實況—神宮外苑野球場より中繼—東京大學野球聯盟リーグ戰「法政對慶大」
五・〇〇 子供の時間
五・三〇 時事解説（滿語）
六・二〇「滿語講座」高宮盛逸
六・四〇「日語講座」植松金枝
七・〇〇 常磐津「白井權八、小紫、廓の仇夢」（淨瑠璃）常磐津節太夫、常磐津錦壽太夫、常磐津春字太夫、常磐津政壽郎（上調子）常磐津文七
七・三〇 管絃樂—新交響樂團練習所より中繼—日本放送交響樂團（指揮）近衛秀麿
八・〇〇 箏曲「正派讃歌」「けしの花」笙大久保雅龍、高音中島雅樂之都、低音藤崎雅樂美、箏三絃中島雅樂之都、尺八山城睹山、同關川對山
九・〇〇 ダンス・ミュージック—オリエントダンスホールより中繼—オリエントダンスホールタンゴオーケストラ、指揮熊田篤之、ヴイオリンピー・クルチニン、ギター小池道夫、ピアノ飯目資重、アコーデイオンピアノ熊田篤之

京城（JODK 九〇〇KC）六月二日

午前の部

六・三〇（東京より）基礎獨語講座（二十四）橋本忠夫
一一・〇五 料理献立、日用品値段、鮮魚御相場京城府營水産市場發表

午後の部

〇・〇五 ハワイヤンソング（一）ブルーハワイ（二）スヰートヴアイオレット（三）ホノルルムーン（四）片想ひ（五）マイハワイヤンメイド（六）南國の夕映（唄）國介文夫、同まり子、同百太郎（伴奏）コロムビア・アンサンブル
一・〇〇 野球試合實況（京城實業野球聯盟リーグ戰）遞信對京電—京城グラウンドより中繼—
一・五〇（東京より）野球試合實況（奉天に同じ）
四・三〇 野球試合實況（京城實業野球聯盟リーグ戰）府廳對殖銀—京城グラウンドより中繼—
六・〇〇 箏曲（一）金剛石（二）擣絹、演奏社中兒童、立川賀子、渕上澄子、北垣榮美子
六・二五（東京より）英語講座（四の六）村岡花子、齋岳文章
七・三〇（東京より）名作物語「小公子」松井翠聲、伴奏指揮細田宗吉
八・〇〇（東京より）常磐津（奉天に同じ）
八・三〇 管絃樂（奉天に同じ）

新京（MTCY 五七〇KC）六月二日

午前の部

六・〇〇（東京より）ラヂオ體操
一〇・五九 時報、レコード（滿語）

午後の部

〇・三〇 演藝（滿語）
〇・五〇 野球試合實況（奉天に同じ）
五・〇〇（東京より）子供の時間「北の生命線を護つた人々」北海道帝國大學司書官高倉新一郎
五・三〇 時事解説（滿語）
六・二〇 滿洲講座（奉天に同じ）
六・四〇 日語講座（奉天に同じ）
七・〇〇 常磐津（奉天に同じ）
七・三〇 ピアノと管絃樂＝新交響樂團練習所より中繼＝（一）ピアノと管絃樂「ハンガリー幻想曲」リスト作曲（二）管絃樂劇的物語「ファウスト劫罰」よりベルリオーズ作曲（イ）嵐の精の踊り（ロ）ハンガリー行進曲（ピアノ）土井正浩、日本放送交響樂團（指揮）ニコライ・シフエルブラット
九・〇〇 演藝（滿語）

ラヂオ相談

機械は古くなると駄目になりますか

【問】私の家のラヂオは昭和七年八月頃求めましたジャクソンベルと稱する七球式ですが昨年まで晝夜の別なく内地は勿論外國も聞えましたが本年初春から少し駄目になりましたので先日滿電にお願ひして修理して頂きましたが矢張夕方まで内地新京も少しも聞こえません、三ケ年になると器械が古くて駄目なのでせうか、滿電で修理して頂かなかつた以前の方がよかつたやうな感じさへ致しますどうしたらよいでせうか、お伺ひいたします（市内譚仙生）

眞空管を取替へると良くなるでせう

【答】眞空管を取替へると感度が良くなることがあります今時分の季節ですと内地放送局を直接受信することは困難です。（電々會社・係）

お斷り 最近當相談係宛に「セットを購入したいから市中の商店を紹介してくれ」とか「カタログを送つてくれ」との御問合せに接しますが此種の御問合せには紙上を以てお答へはし兼れます、また假令郵券を封入御申越しになつてもお答へは致しません。（係）

本社特選 新棋戰【其二】

香角交角落番　七段 齋藤銀次郎　四段 梶一郎

【圖は六二銀迄の局面】

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	香車	桂馬		金將	王將	金將		桂馬	香車
二		飛車		銀將			銀將	角行	
三	歩兵	歩兵	歩兵	歩兵				歩兵	歩兵
四					歩兵	歩兵	歩兵		
五									
六				歩兵	歩兵				
七	歩兵	歩兵	歩兵		銀將	歩兵	歩兵	歩兵	歩兵
八					金將			飛車	
九	香車	桂馬	銀將		玉將	金將		桂馬	香車

△四八銀　▲三四歩
△五六歩　▲五四歩
△五七銀　▲三二銀
△五八金左　▲四四歩
△六六歩　▲六二銀

▲梶氏持駒 ナシ

△五五歩　▲八四歩
△六七金　▲八五歩
△六八玉　累計十五手

萩原七段解説

五八金左は一見異法の如く見ゆるも、敵櫓圍ひならば六六歩と突いて六七金上りの心算、又敵三筋飛車なら四六歩と指し四七金上りの意味、要するに些か敵を紛らさんとの目的であつて大駒落の如き見込みのない局面には早くも紛れを指し、徐ろに利益を占めなくてはならぬ、梶君の六二銀は早い、六四歩と突いて位を維持するところ齋藤君が素早く六五歩と突き出して位を取り變化に出たのは善い。

四八銀は、二六歩では三四歩、二五歩、三三角の常套手段になり下手に櫓圍ひの堅陣を採られては變化が狹くなる、で、四八銀以下早く五七銀の趣向に出て敵の模樣によつては、何か變つた作戰に出る意味である、梶氏の四四歩は一見角筋を留める樣だが、これは次に五二金より四三金と、所謂櫓圍ひにする含みである、次に六二銀は早計で此處は六四歩と指すべきだその時四六銀なら四三銀と敵銀を驅逐の趣向に出て有利である、角落に於ける下手は、位負けを避けて充分に陣形を整備してから攻勢に出るのが得策で、從つて六四歩と對抗すべきである、齋藤氏の六五歩は、變化を求めて定跡を避け力戰模樣に導かうとするものである。

土居八段講評

齋藤君の…る。

梅雨時は胃腸の非常時

最も多い胃腸カタル、胃酸過多、胃アトニーの新療法

季節の變り目には、色々の病氣が出易いものですが、殊に初夏から梅雨期にかけては、一年中でも胃腸病の一番多い時です。

氣溫と濕氣が高くて食物は腐敗し易く、病菌の繁殖も甚だしい時期ですから、

胃腸カタルを起し

て下痢したり、さうでなくても消化器能は一般に衰弱してゐますから、一寸した不注意が因で、胃酸過多症や胃アトニーを惹き起す人が、例年著しい數に上ります。

早い話が俗に胸やけといつて食後に心部が痛む、酸つぱい液が口まで込上げるといふ容態を申せば、思ひ當る方が澤山おありと思ひますが、それは胃酸過多症に犯されてゐる證據です。

この病氣は一口に申せば、胃液中の鹽酸の分泌が異常に亢進する爲に起ります。――鹽酸は勿論、胃が食物を消化す消化液中の大切な成分ですが、さうかと云つて空腹時にものべつ分泌されたり、假へ食物が入つてからでも無闇に多く分泌されると、胃粘膜が刺戟されて病氣を起すのです。

また胃アトニーは、胃筋肉が衰弱してその運動、つまり

消化液と共同して

食物を消化したり、消化された食物を腸の方へ送つたりする働きが衰へた病氣で、食物が溜れて腹がすかない、ゲップが出る、胃部に水でも溜つてゐる樣な音がする、といつた容態が現はれます。

胃酸過多も胃アトニーも、餘り多い病氣の事故、輕視する人を見うけますが、之は大變に危險で、手當を誤れば長年に亙つて治らない許りか、特に胃酸過多症からは、胃が爛れて出血する危險な胃潰瘍を引き起す事さへ珍しくありません。

處が胃酸過多症で胸やけが起ると、習慣的に重曹をのむ人がありますが、元來胸やけは胃粘膜に病變があるから起る枝葉的の現象で、それを除かうとするのは、恰も火事の火元を消さずに煙りを除かうとする樣なもの。一時苦痛が薄らいだとて病患部が治癒した譯ではありません。而も重曹は分解すると炭酸ガスを發生して、更に胃粘膜を刺戟するから、却て有害だと唱へる學者さへあります。

また胃アトニーに對しては、從來、食物を制限し乍ら消化劑をのんで自然の恢復を待つといふのが大體の治療法で、恢復迄には相當の時日を要するものであります。

處が最近「錠劑わかもと」といふヘーフエ菌劑が發見されて、之には胃內の鹽酸を中和する作用の外にも、酵素やホルモン等の貴重成分の綜合によつて、病原たる

胃腸細胞を活氣

づけ、異常を恢復せしめる效果のある事が闡明されました。

だから胃酸過多の人が之をのむと、機能的に過剩な鹽酸を生じさせない事になつて、病原から輕快しますが、又胃弱の場合でも同樣衰弱した胃腸が復活する結果として、食痞れやゲップ等の症狀も、自然に解除されて參ります。

尙、胃腸カタルの場合は、周章てゝ下痢を止めると、有害な物が腸內に殘つて絕好の細菌培養基となり、却て恢復を遲らせることになる場合が屢々ですから、寧ろヒマシ油などの下劑で腹中を掃除し其上で漸次流動食から消化のよい榮養食に移るといふのが治療の眼目ですが、其際「錠劑わかもと」を服用しますと、消化を助けて胃腸の衰弱を恢復し、榮養を補給する等の效果があつて結構です。

子供の偏食

食物の好き嫌ひ、、つて、偏食する子供がよくありますが、これは是非とも矯正しなければなりません。

偏食癖の子供は大抵、肉類や卵、菓子類を好んで一般に野菜を嫌ひますが、中には漬物や飲酒家の好む樣な淡白した物ばかり欲しがる子もあります。

何れにしても攝取する榮養素が偏り、自然と不足に陷る成分も少くないため發育を妨げ、傳染病や結核、脚氣など種々の病氣に罹る惧れがあります。

之を矯正するには、我儘を云はさぬ樣に躾ける事も必要ですが、根本的には胃腸の働きを活潑にし、消化と食慾を旺んにする事で、現今その簡便な方法として「錠劑わかもと」の常用が專ら推奬されてゐます。

便秘が頭腦に及ぼす害

不良少年にも常習便秘者が多い

先頃の大阪朝日新聞で「便秘は不良少年を造る」といつた諺でも出來さうな程不良少年に便秘者が多い」と大阪少年審判所の辻判事は述べてゐます。

同氏が、某團體に收容中の保護少年十四名に就て、一ケ月間の

排便 調査をされた所に依ると、毎日あるといふのが僅かに二人、一日おき二日おきといふのさへ一人宛と云つた有樣で、十八日目や二十二日目といふ者さへあつて、兎に角、その排便狀態は異常といふ言葉を通り越した異常さであります。

そして彼らは一樣に、顏色が惡く、始終喧嘩や自棄自棄の行動を敢てするとの事ですが、之は醫學上から申せば當然の結果でせう。

便秘は多くの學者の研究により、糞便の停滯による機械的の刺戟と、糞便を腸內細菌が腐敗させて生ずる毒素とによつて、殆んど全身各部に障碍を釀すことが明かにされてゐます。

先づ便秘した糞便は、固くて樂と排泄ができません。自然肛門を刺戟して、痔疾や脫肛の原因となることは一般に知られてゐますが、その腸內に

停滯 してゐる間は、腸管を持續的に壓迫して大動脈の血行を妨げ、心臟の動作を困難にする害もあります。

血行の障碍は、直に腦髓に及んで精神機能を障碍しますが、更に糞便の腐敗毒素の爲に、血液そのものも汚されるので、神經中樞が中毒をうけて、精神病の遺傳素質ある者では、往々にして精神病を惹き起すと云はれてゐます。

從つてまた倦怠、疲勞、眩暈、不眠が便秘の爲に誘發される事も、多くの人が經驗される所ですが、その害は單に神經系や肛門局部に止りません。

厄介な蕁麻疹も、便秘の爲に起る事が非常に多く、特に婦人では容色を損する事が著るしいといはれてゐますが、その他食慾不振、消化不良の原因となり、又動脈硬化を起して腦溢血や、中風を誘發する危險もあります。

便秘の直接原因は、大腸の

弛緩 や痙攣、腸內の分泌過少等でありますが、

それで下劑をのんでも、機能的に腸壁を刺戟したり、分泌を補つたりするので通じはつきます。

併し下劑には、腸筋の機能的異常を、積極的に正す效果はないから一時的に免れず、從つて常習性となる許りか痛みを伴ふ等の副作用もあり、又下劑を用ひては腸い胃腸炎を惹付かずに用ひて命を失ふ人さへあります。

そこで最近ではそんな危險を伴はないで便通をつけ、其上、胃腸も丈夫にする「錠劑わかもと」の服用が推奬されだしました。

これは、ヘーフエといふ藥用酵母から作られた藥で、腸內の有害細菌を喰ひ殺し、毒素を解消する作用の際立たる成分がある許りか、更に著しく含まれた活性

酵素 は消化を助け、弛緩や痙攣してゐる大腸の異常筋を正常に引戻し、又分泌の異常を恢復に導く效果もあります。

だから、痼疾的の便秘も、之を服用すれば、やがて快よい自然の便通があるやうになると共に、腸內の毒素やそれが釀す種々の症狀も段々解消して來る譯で、この藥理こそ「錠劑わかもと」が下劑でない便秘の原因的療法の藥として賞用される所以であります。

「錠劑わかもと」は東京芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から、二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓、ポケット瓶五十錢で頒布され、全國藥店でも取次ぎます

海外文獻

母乳の出と質をよくし乳兒の榮養を改善するヘーフエ菌

米國ミシガン州立小兒科病院 シムメル博士

アンドリウス氏の研究により乳汁中に分泌さるゝヴイタミンBの量は、母體の榮養及び食餌により、甚だしい相違のあることが明かとなつた。

ケネディー氏の研究によると母體中のヴイタミンBの缺乏は又乳汁の分泌を甚だしく少量ならしめると云ふ。又乳汁の分泌に要するヴイタミンは、乳兒の發育に要するヴイタミン量よりも遙に大であるとも云はれる。

アース氏によると、乳汁中の婦人の攝取するヴイタミン量の六十％は母體が乳汁分泌を營む爲に消費されてゐるといふ。

之等の見地から、授乳中の母體及び乳汁中のヴイタミンBの量を適當なる方法により確實に必要量に保つ事が大切である。

余は、此間の消息を實現すべく、三人の授乳中の婦人に、日常食餌に、ヘーフエ錠十グラマを補服せしめ、その乳汁中のヴイタミン含有量を研究せり。

その結果、ヘーフエ錠十グラムを毎日服用中の乳汁中には充分なるヴイタミンの存在を確め得たるのみならず、尙その乳汁は乳兒によりよく容易に消化吸收せらるゝ事を知り得たのである。

（生物化學雜誌、第九十卷所載）

E.73

御召列車に奉仕する光榮の鐵道部乘務員

嚴選に嚴選を重ねた結果 昨日滿鐵から發表

秩父宮殿下より御差遣の秩父宮殿下には愈々二日東京御出發御渡滿の途に就かせられることとなり御着連後の御日程も既に確定したので滿鐵では光榮ある御召列車の準備に萬々遺憾なき期し林總裁自ら列車を檢分して粗漏なきやう勵めると共にそれぞれ係員を督勵しつゝあるが一方この光榮ある御召列車の乘務員についてもまた鐵道部なりして過日來頗る愼重に人選を進めしめ殊に實際に御召列車の運轉その他の業務に奉仕する乘務員即ち機關士、事務車掌以下の選定については最も愼重なる詮衡を必要とするので各鐵道事務所に命じて技術、人格、健康その他凡ゆる點に於て他の現業員の模範となるべき人物を嚴選また嚴選の上候補者として決定報告せしめ更に鐵道部に於いて右候補者につきそれぞれの身元調査並に身體檢査、過去の實績等を十分考査した結果遂に左の如く確定し總務部に報告したので同部ではこれを一日午後三時庶務課より正式に發表した

御召列車鐵道部乘務員

本部
輸送課長 猪子 一到
輸送課車輛係主任 七田 一積
同課事務員 前薗 彌八
工務課長 中村 英城
營業課旅客係主任 小池 文雄
同課事務員 木下 富士太

大連鐵道事務所管内
所長 江崎 重吉
工務長 薗田 光雄
列車主務者 角田慶太郎
機關車主務者 田崎 義男
助役 瀬戸 康雄
列車區長 齋藤 順治
旅客專務 西田 治三
同(豫備) 原田 敬亮
車掌 長島 政雄
同 青木 道夫
同(豫備) 芹澤菊次郎
同(同) 小袋 美年
乘務荷物方 前島 德重
乘務荷物方(豫備) 津村十太郎
列車給仕 大隈 幸市
同 門橋 英一
同 伊木 清馬
同 富井 勝治
同 増田 義一
同(豫備) 相澤增太郎
同(豫備) 神崎 昇
機關區長 藤野 賢六
機關士 網本 卓平
同 篠原 重義
同(豫備) 崎岡 重雄
機關方 高良 武次
同 乾 康雄
同(豫備) 澤村 完一
修繕工長 溝口 清正
修繕方 小倉由一郎
機關區長 川西 重作
機關士 辻本 龜吉
同 岡野 壽義
同(豫備) 宮崎竹次郎
機關方 深堀 末男
同 郡山 記六
同(豫備) 上園不可思
檢車區長 種村 吉衛
檢車助役 伊勢 磯吉
檢車方 坂口榮五郎
同(豫備) 小川 勝業
電氣方 鈴木 季吉
同(豫備) 伊部秀太郎
保線區長 池田 來介
線路工長 野村 文松
線路方 藤田 正
保線區長 三宅 善平
線路工長 馬場安太郎
線路方 稻益 正藏
保線區長 林 惣太郎
線路工長 石川 庄松
線路方 大穗九八郎
電氣助役 平井 環
電線方 渡邊 左七

奉天鐵道事務所管内
所長 白井 喜一
工務長 堀江 元一
列車主務者 野田 憙
同(豫備) 竹内 節三
機關車主務者 加藤時次郎
同(豫備) 中馬 正雄
列車區長 岩本圭之介
旅客專務 柴田 安
同(豫備) 松本 亮
車掌 植田 福藏
同(豫備) 石井平次郎
列車給仕 菊地 貞郎
同 北島 政雄
同(豫備) 兒玉 二郎
機關區長 吉浦 豐
同(豫備)運轉主任 宮川 浩
機關士 村田 博
同 渡邊重三郎
同(豫備) 金谷午次郎
機關方 小泉 正雄
同 黒岩 秀雄
同(豫備) 余宮 常雄
修繕方 多伊良安一郎
同 吉田竹次郎
同(豫備) 野元 甚助
檢車區長 中村 謙治
檢車助役 新田與左衛門
同(豫備) 山本 直吉
檢車方 朝生銀次郎
同(豫備) 落合 悌藏
保線區長 德永 繁吉
線路工長 豐田小太郎
同(豫備) 大橋千次郎
線路方 岬 喜代作
同(豫備) 朝隈 國治
保線區長 鈴木 壯七
線路方 土屋 重孝
同 槇川 近作
保線區長 河村 英夫
線路方 泉原 四郎
同 松田 貞義
保安區長 金澤 武司
電線方 坪上 辰次
同(豫備) 伊藤 豐

新京鐵道事務所管内
所長 芳賀千代太
工務長 松尾 正二
工務係員(豫備) 山下 藤五
列車係員 川畑 豐治
同(豫備) 梅原 光二
機關車係員 川崎定治郎
列車區長 大石義三郎
車掌 黒木 繁
同(豫備) 坂井 千一
運轉主任 佐野 新作
機關區長(豫備) 長尾 次郎
機關士 眞鍋 菊藏
同 寺本 義直
同(豫備) 旗島 厚
機關方 小林保次郎
同 逆瀬川重則
同(豫備) 濱田 勳
同(豫備) 服部 龍雄
修繕工長 杉本 賢一
同 若林常三郎
檢車區長 桂 保雄
保線區長 大森規矩司
線路工長 泉 佐十郎
同(豫備) 江藤傳之助
線路方 宮脇 英二
同(豫備) 柴田 養作
保線區長 山本 慶作
線路工長 永田善太郎
同(豫備) 高山六之助
線路方 安部 健三
保線助役 藤原 一雄
線路工長 杉原 環
線路方 小澤長次郎
同(豫備) 春成 才藏
保安區長 羽根 友治
電氣工長 立川 宗一
同(豫備) 石塚 繁藏

旅館事務所
所長 大坪 正
支配人 田中 芬
同 福岡 健治
同 丸野 光吉
料理長 石田 常吉
料理方 鈴木 庄司
給仕長 佐藤 忠吉
同 日高 安吉
同 廣松 定
給仕 塚村 正市
同 小此木熊治郎
料理方 金子 敬介
同 龜井 芳二
同 阿部 力
同 笠原 初二
雜務方(滿人) 曹 子 森

光榮の乘務員

(右上より)村田、篠原各機關士、大隈列車給仕の諸氏
西田專務車掌(左上より)網本、渡邊各機關士

光榮の各機關士と事務車掌略歴

御召列車乘務員中最も光榮ある各機關士、事務車掌は何れも永年滿鐵に勤務し技術人格共現業員の模範とされてゐる人々のみであるがその略歷は左の如くである

△西田治三氏(大連列車區專務車掌)大正七年十月奉天驛々務方として滿鐵に入社十三年十月大連列車區車掌、昭和六年同專務車掌となる同九年四月十五年勤續表彰を受く、三十三歳(長崎縣生)

△柴田安氏(奉天列車區專務車掌)大正八年一月車掌見習として滿鐵に入社し八年三月車掌十四年旅客專務となる、昭和九年四月十五年十五年勤續表彰を受く、四十歳(茨城縣生)

△網本卓平氏(大連機關區機關士)大正七年小使として滿鐵入社、八年六月機關夫、九年機關方心得、十四年十一月機關士となる昭和八年四月十五年勤續表彰を受く、三十二歳(廣島縣生)

△篠原重義氏(大連機關區機關士)大正八年五月機關夫として滿鐵に入社し十年機關方十四年十一月機關士となる、三十一歳(鹿兒島縣生)

△辻本龜吉氏(大石橋機關區機關士)大正八年二月機關夫として滿鐵に入社し九年一月機關方、十年十一月機關士となる、昭和九年四月十五年勤續表彰を受く四十歳(長崎縣生)

△岡野壽義氏(大石橋機關區機關士)大正八年九月機關夫として滿鐵に入社し九年一月機關方、同十二月機關士となる、三十八歳(岡山縣生)

△渡邊重三郎氏(奉天機關區機關士)明治四十五年七月機關夫として滿鐵入社、大正四年機關助手八年十一月機關士となる、昭和三年十五年勤續表彰を受く、四十五歳(長崎縣生)

△村田博氏(奉天機關區機關士)大正七年六月機關夫として滿鐵に入社し九年一月機關方、十四年十一月機關士となる、昭和九年四月十五年勤續表彰を受く、三十四歳

△眞鍋菊藏氏(新京機關區機關士)明治四十四年四月營繕機關區に入社、大正四年四月機關助手、大正九年二月機關士、昭和八年八月新京機關區に轉任、昭和二年十五年勤續表彰を受く、三十九歳(門司市生)

△寺本義直氏(新京機關區機關士)明治四十四年十二月大連機關區に入社、大正四年四月機關助手大正十年九月機關士、大正十三年四月新京に轉任、昭和二年十五年勤續表彰を受け卅九歳(熊本縣生)

羽田鐵道部長談

御召列車鐵道部乘務員の選定を終つて滿鐵羽田鐵道部長は左の如く語る

御召列車の現場乘務員は何れも各鐵道事務所長が責任を持つて嚴選に嚴選を重ねて推薦して來た者である、これで運轉の陣容が整つたし、關東軍はじめ各關係方面との打合せも大體終了してゐるが、更に萬遺漏のなきを期するため御召列車運轉當日までに線路の補修等を更に嚴重に行ふ筈で謹んで宮殿下御來滿の日をお待ち申上げてゐます

榮ある三機關士 寺本氏は二回目奉仕

【新京特電一日發】光榮の機關士眞鍋、寺本、旗島の三君は何れも數年前まで營繕機關區に在勤してゐた品行方正、精勵恪勤の模範的機關士で、申し合せた樣に三人共四人の子供のパパさんである、特に寺本君は昭和五年五月秩父宮殿下の第一回御渡滿の際光榮の乘務員として大任を果し、今回特に第二回の御渡滿に際し乘務員として選ばれ眞鍋、寺本兩君は御召列車に、旗島君は先驅者に乘務する事となつて居る、一日右三氏を宿泊所に訪へば何れも襟を正し光榮の喜びを滿面に漲はして居たが眞鍋君は謹んで語る

思ひがけない光榮に只々恐懼感激して居る次第です、寺本君は二回目の光榮ですが私と旗島君は初めての事で大任を無事に奉仕出來ればと家族と共にそればかり祈つて居ります

網本機關士談

光榮の網本機關士を市内二葉町の自宅に訪へば溫厚な顔に微笑を浮べながら語る

三十日に健康診斷を受けたゞけでまだ正式の通知には接してゐませんがいよいよ發表になりましたか、機關區長からお話があつた時から只身に餘る光榮に恐懼してゐる次第ですが、おうけした以上は神佛に祈つて萬全を期し無事大任を果したいと思つてゐます

一生に一度の光榮ですから誠心誠意努力して無事任務を果したいと思ひます、今から健康にも注意し充分準備をさゝのへ微力ながら出來るだけの努力を拂つてこの國民としての無上の光榮に御酬いするつもりです

西田旅客專務 決意を語る

光榮の御召列車乘務員が發表された時旅客專務西田治三氏は丁度一八列車に乘務中であつたが午後四時四十分同列車の到着した大連驛ホームに同氏を訪へば

實は十八年間滿鐵に勤めて、多くの貴賓にも接しましたがこの度の樣な光榮は又とありませんので、ベストを盡して奉仕申上げることはいふまでもありません健康にも十分注意し齋戒沐浴、光榮の日を御待ちいたします

大隈列車給仕談 ベスト盡して

御召列車奉仕の光榮に浴する列車給仕の中、秩父宮殿下の御側近く奉仕する最も光榮ある列車給仕は大連鐵道事務所管内の大隈幸市君であるが、同君は先に閑院宮殿下御來滿の際も御召列車奉仕の光榮に浴してなり貴賓列車には必ず同君が乘務するといふ程の模範給仕である、一日午後御召列車の調度品準備に忙殺されてゐる同君を列車區長室に訪問すれば「別に感想といひましても……まあ私のことは區長さんに聞いて下さい」と謙遜してゐたがやつと口を開く

武器に事缺かぬ 波止場の戎克

拳銃、長銃から歩兵砲まで 水上署ビックリ

大連水上署では時節柄、臨時全署員の非常召集を行ひ海上班と陸上班に分れ管内の大檢索を行つてゐるその第一回檢索は三十一日午後六時より一齊に行はれたがその結果意外な事實が發見され署員は今更の如く慄然としてゐる、右はかねてより管内の

癌 として注目されてゐる ロシア町戎克波止場に於ける約五百隻の戎克がそれぞれ武器を携帶してゐることで、拳銃又は長銃、中には歩兵砲すら所有する戎克を發見、時節柄嚴重取締の爲り切つた同署では取敢す何故に戎克が武器を携帶してゐるかに就いて嚴重取調べたが結局戎克側が

述 べるところによると戎克の大半は南支方面より對滿洲貿易を目的に來航したものだが、かねてより滿洲國との正式貿易に反對してゐる支那の反日滿分子等はこれ等戎克を發見次第、これを掠奪するのを常としてゐるので、これ等に對抗すべく武器を携帶してゐるものであることが判明、水上署では單なる自衛的な武器としても時節柄危險千萬であると武器携帶戎克な

虱 つぶしに搜査し將來入港の際は武器は總て同署に屆出るか斷然沒收するかいづれにか對策を決定する事となつた

御召艦の御嚮導

來村琢磨氏重任に就く

秩父宮殿下にはのみぎり大連港へ御來航の際光榮ある御召艦足柄の御嚮導の大任を帶びる大連港水先案内に對してはかねてより人選中の處、同組合長來村琢磨氏が推薦されこの重任につく事となつた、來村氏は明治七年十二月佐賀縣唐津の生れ大連港にパイロット制度を確立した當事者で全二十五年の水先人としての經驗を有し他面體育奨勵事業にも盡力、大連商業學校創立に對しても同氏のかくれた力に負ふところが多い、市内櫻町の自宅に訪へば謹んで語る

全く光榮の至りです、私の永いパイロット生活の特筆すべき名譽たることゝなつたのでお待ち申しあげる心組みです【寫眞は來村氏】

女學校體育大會

けさ九時、六校參加し

關東廳體育研究所並びに關東州學校體育聯盟の共同主催になる關東州内女子中等學校體育大會は二日午前九時より大連運動場に於いて旅順高女、旅順公學校、神明、彌生、羽衣三高女及び女子商業の六校三千二百餘名參加の下に擧行するが、州内唯一の女子大會として盛會が豫想されてゐる、なほ競技種目及び競技順序左の如し

入場式 午前九時(全員參加)
合同體操 午前九時半
◇陸上競技(大連運動場) 午前九時四十分開始
六十米走市隊、百米、四百米繼走(いづれも各年別)
◇籠球(バックスタンド上のコート) 午前九時四十分開始
▲一年の組(1)神明對彌生戰(2)旅順對羽衣戰▲二年の組(1)神明對彌生戰(2)彌生對旅順戰▲三年の組(1)神明對旅順戰(2)旅順對彌生戰▲四年の組(1)旅順對神明戰(2)神明對彌生戰
◇排球(バックスタンド上コート) 午前九時四十分開始
▲一年の組(1)神明對羽衣戰(2)旅順對彌生戰▲二年の組(1)彌生對旅順戰(2)羽衣對神明戰(3)彌生對高公戰▲三年の組(1)神明對彌生戰(2)羽衣對旅順戰▲四年の組(1)神明對旅順戰(2)羽衣對彌生戰
◇庭球(水泳場裏コート) 午前九時四十分開始
神明、彌生、女子商業、旅順四校參加
◇弓道(中央公園弓場)
神明彌生高女參加
◇マスゲーム(大連運動場) 午後一時開始
(1)女子商業(未定)(2)神明高女(五日の思出)(3)旅順高女(分列式)(4)羽衣高女(非常時日本)(5)彌生高女(巡邏兵)

匪賊のため列車爆破さる

死傷三名北鐵東部線の椿事

【ハルビン特電一日發】北鐵東部線近藤林業公司リンク引込線亞布洛尼驛より十二粁の地點を進行中の列車が一日朝一時頃匪賊のため爆破されたが匪賊約百名は列車を襲ひ掠奪を開始したので亞布洛尼驛より救援隊急行交戰の結果撃退した、列車は爆破されると共に機關車から火を發して一部を燒き滿人機關士一名燒死、機業の滿人工夫一名重傷を負つた、邦人の被害なし、賊は死體を遺棄し逃走した、なほ賊の使用した爆藥は英國製の強力なもので出所につき詮議が凝されてゐる

忠靈塔建設基金(本社寄託) 寄附者芳名(六月一日夕迄の分)

▲金一百四圓 南滿瓦斯株式會社大連本社從業員
▲金二十圓 南滿瓦斯株式會社白波多次郎
▲金二十圓 大連成發東分號店員一同
▲金拾四圓五拾錢 南滿瓦斯株式會社安東支店從業員
▲金拾圓 聖德街滿洲時報社
▲金七圓七十錢 大連汽船一進丸乘組日本人一同
▲金五圓 熱河省承德朝鮮銀行派出所本田辰雄
計壹百八拾壹圓貳拾錢也
累計壹萬四千四百四拾圓五拾四錢也

訂正 六月一日附朝刊の「辻古比古」は「辻克比古」に付訂正す

大分縣人會

大連大分縣人會では三日(日)午前十一時より中央公園内西園亭において定期總會を開催するが同縣出身者は奮つて參加されたいと、因に會費二圓で出席者は東裕錢莊(電話二一二一八番)中央購買組合(七〇三七番)田崎建材會社(四七一九番)の何れかに申込まれたいと

青森縣人運動會

當地青森縣人會では三日午前十時より星ヶ浦ヤマトホテル下海岸にて家族運動會を開催する由、參加希望者は近江町一一同會事務所(電話二三六七二番)へ申込まれたいと

防護分團宣傳員の初協議會

過般決定した防護團各分團宣傳員の初協議會は一日午後一時市役所にて開かれ、連繫して宣傳することゝ並に防護團員以外の一般人にも宣傳することを申合せた

第一回 滿洲學生野球聯盟大會

◇第一日(けふ)◇

入場式 午後零時三十分
滿洲醫大對旅順工大戰 午後一時
(審判圓城寺、安藤弟、立石三氏)

主催 滿洲學生野球聯盟
後援 滿洲日報社

安樂子

滿鐵地方部は今年の春滿鐵色分對抗競技に優勝してから果然運動熱が旺盛となり、殊に庶務課はさきに部内各課對抗スポンヂ野球でも見事に優勝したゞけに一層熱をあげてゐる。

……◇……

所で最近この庶務課内で三十歳以上と三十歳以下の二組に分け對抗野球戰をやることになつたが普通の賞杯では面白くないとあつて左の如き珍罰則を作つた

……◇……

曰く、三十歳以上の組が負けた場合、口ヒゲのある者は鬚を剃り、無い者は反對に鬚を生やすか然らずんば頭を丸刈にすること、三十歳以下の組が負けた場合は全部丸坊主にすること。

……◇……

これに對し老頭兒組の妻帶者のうちには恐れをなして奧さんの反對を口實に異議を申立てたが獨身連は仲々承知せず近くこの戰ひは悲壯な決心を抱かせながら滿倶球場で行はれることになつた。

けふのメモ

月並圍碁會 大連棋院六月の月並圍碁會は來る三日正午から市内浪速町鈴木吳服店樓上の同院で催される(會費一圓夕食付)
▲防空演習宣傳委員協議會 午後四時民政署會議室にて
▲防空講演と映畫 防護團主催常盤小學校にて午後五時より七時迄及び七時半より九時迄の二回開催、一般の來聽來觀歡迎
▲滿洲學會例會 大連圖書館二階特別閲覽室に於て
▲岩手縣人會 田子一民氏歡迎會を兼ねて午後六時より扶桑仙館にて

スポーツ

◇野球……▼第一回滿洲學生野球聯盟大會第一日醫大對工大戰午後零時三十分より實業球場で
◇運動會……▼關東州女子中等學校體育大會午前九時より大連運動場で

本社見學(一日) 小川七次氏高橋年次氏竹島治榮氏引率撫順東公園小學校兒童一行六十三名

謹告

(五月中就職決定者)

英文タイプライター科生 島ト口
滿鐵本社英文課附採用
邦文タイプライター科生 大出たつ子
英文タイプライター科卒
米國サンオイル利德商會附採用
邦文タイプライター科生 櫻井多嘉子
英文タイプライター科卒
邦文速記科生
滿洲建築協會附採用
邦文タイプライター科生 稻富シヅ
英文タイプライター科生
滿洲瓦斯會社附採用
邦文タイプライター科生 西村菊枝
インターナショナル・トレージング商會附採用
邦文タイプライター科生 加藤芳枝
大連汽船本社文書課附採用
英文タイプライター科卒
邦文タイプライター科生 寺中捷子
古河電氣工業大連支社附實習生採用
邦文速記科生 國政サワ子
東亞產業協會(新京)附採用
邦文タイプライター科生 竹林治子
錦州滿鐵建設事務所附採用
英文タイプライター科卒
邦文タイプライター科卒 中溝初枝
佐世保海軍々需部附採用
邦文タイプライター科生 小熊輝子
滿鐵本社附採用
右會員諸氏に謹告仕候間同窓會書面の往復は各部everyone宛被成下度此段謹告仕候也
昭和九年六月二日
大連市西廣場
英學會
英和タイピスト學院(電四三〇八)

社説

對滿政策根本解決の促進

滿洲における三位一體制が、過渡的制度であることは過ぐる議會において明白に指摘され、政府當局亦早晩根本的改制を行ふべきことを言明した。其後拓務省は此の方針の下に調査研究を進め、近時其の要領を纏めた中に、第一に現在の三位一體制を脱却して、親任官の文官關東長官を置く可き舊制復活を提唱してゐる。即ち關東州及び滿鐵附屬地における一般行政を、專任の文官長官に統轄せしめ、同時に命令系統を拓務省に一元的に所屬せしむることを明示し、併せて附屬地行政を滿鐵より回收し、同省管下に移すことである。附屬地行政移管の實行線は、既に描き、此の拓務省の方針は、教育、土木、衛生等從來滿鐵の施設に係るものを統一し、他は稀れ舊制の復活である。三位一體の過渡的制度たるを認むる以上、理論的に至當の主張として肯定さるべきである。

◇

吾人は曩に對滿政策に關し、既得權益確保の考へと、變革に處する新方針樹立の考へとが競立してゐることを指摘した。一は日滿兩國の分立を確認して日本が彼れを援助せんとするもので、一は兩國の一體合流を意識するものである。而して此の兩意識を統制して、一定の方針を確立するが必要であると説いた。然るに此處に吾人の希望に反する如き傾向がある。それは一方に拓務省の如上の方針があり、而して他方には、恰も之れに對立的に立てられたるが如き意見があることだ。例へば軍部の對滿政策として傳へらるゝ中にある所の、關東廳は單に關東州の統轄に限る一地方廳と爲し、滿鐵に對する監督權は之を全權大使に移し、三位一體制を二位一體制とする案の如きがそれである。

◇

關東廳を關東州內の地方的行政廳に限定することは、附屬地を解放して滿洲國と合流させるといふ意識に出發するものである。斯くして拓務省の管轄を關東州に限れば、全權大使と軍司令官との二位を以て州外を全面的に支配し、同時に外交を除く全部門に亘りて軍部の指導と統一とを實現し、之れによりて滿洲國との合流の實を擧げ易い。蓋し新事態に應ずる新方針を示すものである。而して拓務省が主張する所の、拓務省が附屬地の一切の施設に當り、附屬地內の領事館を能ふ限り縮小し、外務省の所管を附屬地外へ遷び、並びに滿鐵の監督を拓務省の手に強化せんとする計畫とは、全然行き方を異にする。後者は飽くまでも舊來の權益保持に基礎を置くもので、滿洲國と合流せんとするものとは殆ど正反對の動向を示す。同一政府內にありて、對滿政策の案の立て方が部門によりて斯くの如くに異なるは畢竟根本の指導原理が定まらざる爲めと見る外はない。吾人は斯かる狀態の長く繼續するを以て我對滿政策に不利なるを思ひ、速かに一定原則の確立されんことを必要となすに外ならない。

◇

此事は滿洲國に對する治外法權の撤廢等とは自ら別個の問題である。對滿方針の基幹的問題である。決して政策上の當面的案件でない。而も中央の政情は綱紀問題を中心として、頻りに動搖を免れない。今日、此の政策に關する基幹的の大問題が容易に具體的決定を見得ざる實情にある。甚だしき焦慮を感じない。いずれにおいても本問題の基幹的解決を促進されたいものである。

ソ聯の不法射撃に一般的注意を喚起す

帝國政府當局談發表

【東京一日發國通】最近ソ滿國境方面に於けるソ聯側の不法行爲は枚擧に遑なく去る三月日本軍飛行機の射撃、ハバロフスクの我總領事館襲撃事件、滿洲國汽船紀鳳號、洋捕號又二十九日には武振號に對し不法なる發砲を加へ乘組員に死傷者を生ぜしめた、右の內日本軍飛行機射撃事件は未だ我抗議に回答をなさずハバロフスク總領事館襲撃事件には陳謝したが他の三汽船射撃事件は目下滿洲國外交部よりソ聯に對し嚴重抗議中であるが右の如く頻出するソ聯側の不法行爲に對し滿洲國と共同防衞の責任にある帝國政府としては日ソ滿三國關係の遷延を恐れソ聯に反省を求むべく一日左の如き當局談を發表すると共に廣田外相は近く駐日ソ聯ユレニエフ大使を外務省に招致し嚴重注意を喚起することになつた即ち

國境附近で斯くの如く日本飛行機並に滿洲國艦船に對し濫りに發砲することは事態の如何に拘らず甚だ不正なる行爲と認む而して年來の日ソ友好關係に多大の暗影を投ずるものなるに鑑み帝國政府は現地よりの報告の到着を俟ち詳細調査の上ソ聯に對し一般的に注意を喚起すると共に將來絶對斯かることをなさゞる樣保障を求めればならぬ

匪禍の中心を往く

今は全く秩序が回復した　佳木斯富錦視察談

【ハルビン特電一日發】滿鐵ハルビン事務所貴島產業課長はこの程佳木斯、富錦方面を視察したが氏は語る

土龍山部落附近を飛行機で巡視して見たが今はすつかり秩序回復して耕地も手入れが行屆いてゐるが他の地方は匪賊が橫行したために耕地の手入れも出來ず家の燒かれてゐるのも大分ある謝文東等は今度の討伐で山岳地帶に逃込んだらしい謝は住民の困苦を救ふために妻子を殺し義軍を起したのだと宣傳してゐたがこれも芝居で逃げる時には妻子を連れて逃げたさうな、佳木斯では匪賊に家を燒かれ路頭に迷つた農民百五十名が救濟を歎願して來たが悲慘なものだ

勳一位親授式

【新京特電一日發】さきに發表された鄭國務總理以下勳一位の叙勳者に對する親授式並に賞勳式は二日午前十一時より宮內府において行はれることに決定、故于沖漢氏に對する勳章、追贈は遺族の居住地地方長官の手を經て追贈される筈である

故周作霖中將に追叙勳二位

【新京特電一日發】建國の功勞者としてまた馬占山討伐に際し、赫々たる功績を收めた黑龍江省警備司令周作霖中將に對し二十七日附をもつて叙勳の御沙汰があつた

陸軍中將　周作霖
叙勳二位賜景雲章

『滿洲事情』

諸學校に採用されやう　丸山二中校長歸連談

五月十七日より五日間に亙り東京府立一中において行はれた全國中學校長會議に出席中であつた大連二中校長丸山英一氏は一日入港しあさる丸にて歸連、船中語る

一、議題の主なるものをあげると文部省諮問案として時勢に鑑み中學校生徒の思想善導に特に留意すべき事項如何並びに中學校體育の使命に鑑み全人的な體養を徹底せしむる方法如何等であるがこれ等の實質的中心問題となつてゐたのは（一）教員定數の復活を計り一層教育力の充實を圖る事（一）一學級の生徒定員數を減少し精神訓練の徹底を期する事（一）公費を以つて有力なる校外輔導の機關を設ける事（一）自宅から通學し得ざる生徒のため特別なる施設をなす事が決議された尚は今次の旅行では東京、大阪、神戶、岡山、廣島等に行き第一種、第二種課程の實施狀態、校外における學生體育の實際、受驗準備授業の實際を見て來た、そして今秋全國中學校長團が大擧鮮滿視察を企てるがその際我々でその斡旋を引受ける事を約束して來た

一、そして更に全滿中等學校教諭諸君が熱心協力編纂した「滿洲事情」が愈々三省堂から發行されるが、自分は會議においてこの編纂の趣旨の説明をなして內地においてもこれを採用されたいとすゝめて來たが共鳴を得たから相當採用されると思ふ

一、尚今度上京して以前から櫻井勳四郎氏等が運動してゐた滿洲から上京してゐる學生等に對する何か親切な好い機關が是非必要だと云ふ事を痛感した

忠靈塔基金募集

軍人會館『演藝の夕』

【東京一日發國通】新京、ハルビン、チチハル、承德の四ケ所に忠靈塔を建設する計畫は各方面に多大の共鳴を呼び起しつゝあるが在鄕軍人會では全國に檄して建設基金を募集する外軍人會館最初の試みとして同會館自から主催となり來たる十日午後六時より「演藝の夕」を催して純益金全部を獻金することに決定した、贊助出演者は西村樂天、大島伯鶴、淺草の吉奴、豐太郎、川田芳子それに丸一小仙一座、三遊亭金馬、木村重友、九官鳥等を始め三、四十名の人々が演藝報國はこの時にありと何れも無報酬で出場を申出でたので會館當事者も感激したが時間の關係上全員を出演させるわけに行かず成る可く抽籤山にすることにして納得させた

京大に滿蒙調査會設置

松井總長來奉

【奉天特電一日發】帝大總長松井元興氏は小林鳳三氏を同伴一日午後二時安奉線列車にて着奉、ヤマトホテルに入つたが語る

京都大學內に滿蒙調査會が設立されたので滿洲の各機關と打合せするためにやつて來た、また京大卒業生の活躍狀態をも見たいと思つてゐる、調査會は大學に附屬して總長に總長、理事に各部長が專任され研究は醫學によらず文學、法律、經濟、音樂、美術あらゆるものを網羅する積りである、自分は分析化學の方を研究してゐるので撫順のオイルセールは是非見たいと思つてゐる

燈火管制警報

滿洲國人に徹底　大連市役所　滿人委員會

關東州防空演習統監部では大連市に於ける廣汎な滿洲人居住區域につき、燈火管制及び警報等に關する知識を徹底せしむる爲め一日午後二時より大連市役所に於て滿人委員のみを招集してその協議會を開催したが統監部よりは旅順要塞指令部工兵少佐伴野英二氏、民間側よりは御影池委員長代理として戶田地方課長を初めとし滿人方面委員張漢五、于信齊、徐憲齊、運子祥、安慈民、郭子珍の諸氏、大連市商會王錫建氏、新業銀號閻之如氏、千代田町區長吳寶國氏その他水上、小崗子、大連、沙河口の各警察署員等出席伴野少佐より一般警報燈火管制につき發令、解除、警戒管制、非常管制、電燈の覆ひ方等に亙る詳細な説明及び防空演習の精神等に亙る講演あつた後協議會に移つたが滿人側より多數の質問意見等出で四時過ぎ散會した、尚ほ本日の議會に於いて説明せる事項は一つの表にまとめてビラを作成し十萬枚を日滿各家庭に二、三日中に配布する由

大阪鮮滿案內所

擴大意見行はる

【大阪特電一日發】大阪における滿鐵會社の機關としては目拔の大通りたる堺筋にスマートな威容を以て大阪鮮滿案內所を有してゐるが、對滿貿易においてわが國の過半を占めて絶對優越の地位にある土地柄、滿洲國の顯著なる發展に伴れて各方面の利用者が著るしく增加し、企業計畫や輸出相談など種々雜多なる問題までも持込まれて、大童の活動をつゞけてゐるがこの躍進的大勢に順應すべく陣容の擴大充實を以て更に積極的活躍をなすべしとの見地から同案內所の昇格意見が在阪識者間において有力に擡頭してゐる、即ち

一、鮮滿案內所の名は餘りに局部的名稱で大滿鐵會社を代表する要地の機關としては相應しからぬ

[illegible]

防空知識（２）

家庭に關係深き燈火管制の要領

重要なる注意事項

前回に關東州防空演習の概括的な説明をしたが、更にこれを要約すれば要地の遠く前方に防空監視哨を配置して敵機の發見に任じ、來襲の報告あるや、國く情報を傳へて防空準備を整へ燈火管制を命じて要地の外方四周に配置せる防空飛行隊を以て敵機を攻撃し要地上空に到達することが出來ないやうに全力を盡す、それでも漏れて來襲した場合は高射砲等の射撃により撃墜又は撃退に努めるが、何は且つ齎つた被害に對しては機を失せず對策を講じ得るやう消防班、警護班、救護班等を配置してそれぞれ活動するのである、而して積極防空は主として軍部これに任じ（通信及び防空監視哨は地方官民も當る）消極手段のうち警備は軍部、地方官民との協働により、その他は地方官民において編成される、以下既に分類した編成部署に從つて先づ消極的防空から始める

燈火管制

燈火管制とは敵機の空襲が豫想される場合、要地附近一帶の發光體を上空に對して匿すことにより空襲を困難ならしめ又はその効果を少くしやうとする方法であつて消燈、遮蔽（發光體を直接不透明なもので覆ふ）隱蔽（雨戶や窓覆をかけて光が外に洩れぬやうにする）制限（發光體の數を減じたり燭光の小いランプに取換へる）の四つの方法があり、夜間における消極防空の主體をなすものである、そして燈火管制は豫想する危險の狀態により警戒管制と非常管制に分つことが出來、警戒管制は敵機來襲すべしと豫想する期間輕き管制を行ふをいひ、非常管制は來襲の確報を得て全燈火管制區域に亙き管制を行ふをいひ、また燈火管制は實施方法により中央管制と自由管制に分つことが出來、中央管制とは發電所、變電所、配電所において配電線を遮斷し各燈火を同時に消燈するをいひ、自由管制とは個人又は團體毎に火光を秘匿するをいふところで往々にして燈火管制はたゞ消燈すればよいと考へてゐる向があるが、それは大變な間違ひである、消燈にしたのではこれでは戰爭に負けてしまふ何處迄も仕事が出來る範圍內に暗くし又は光が外に漏れないやうにするのを統制させねばならぬ、尤も暗くすれば交通事故が起つたり、コソ泥の被害を受けたりするかも知れぬがこれに善處するのが大切であり、またこゝに燈火管制の苦心が存するのである

◇

これを警戒管制と非常管制について今少し具體的に説明すれば警戒管制においては敵機の目標となり易い光や都市から發散する集塊的光を對象とし、[illegible] イルミネーション、廣告燈などは主として屋外燈が [illegible] し、これらは演習開始と共に夜になつても燈火がつかぬやうに電源から開閉器を開いておくとか、開閉器のない燈火ならば電球を取外して置くとかいふやうな處置をそれぞれ講じておかねばならぬ、但し全部消したのでは治安や運輸交通等々に危險を伴ふから多少殘しておかねばならぬが、それは官廳や滿電にて然るべく處理するのであらう、ともかく一般市民としては警戒管制と同時に屋外燈は悉く消すものと考へてゐて差支ない、次に非常管制は敵機が愈々わが關東州を爆撃目標として飛んで來つゝある時機の警報であるから絶對的に上空に光を洩らさぬやうにせねばならぬ、從つて警戒管制中には治安維持や運輸交通上殘して置いて差支へなかつた屋外燈も消燈し必要已むを得ぬ最小限度の永久燈のみを全く遮蔽して殘すべく、各家庭においても不要のものは全部消し、萬已むを得ぬものだけ絶對に外に洩れぬやうに處理せねばならぬ

◇

そこで各家庭に關係深き燈火の管制要領を二、三述べれば電燈の遮蔽は黑色布（厚地木綿布を可とす）を二十四ワット迄一枚といふ割合で覆うて窓より垂れ或は絞る、同じく隱蔽は不透明紙又は黑色布で新聞紙五枚を重ねた程度の透過度までに窓を覆ふ、また自轉車の燈火は黑色布にて包めばよい、なほ消燈及び遮蔽に當り二、三注意すべきことを擧ぐれば發光物體に遮蔽物を觸れないやうに注意しないと火事を起すことがあり、木造柱についてゐる外燈を取外す際、直接柱に梯子をかけて登ると柱が腐つてゐることがある、それから電燈點滅用としてスウヰッチを設備するには滿電に申込むべく（但し材料や工賃は申込者の負擔）消燈上技術的な要しあり各戶に消燈出來ない場合は防護團の事務所に五日迄に申込むがよい（實演は防空監視哨の活動）

八相　草木愛運動　M生

（五十行以內　投書歡迎）

◇美しい町に住む人の心は必ず美しい心の人であらう。國際都市大連の有つ美しさは初夏の街路樹に一番の魅力を誇ふ。早朝ほかなペーブを歩く時に乳色のほの甘い花の香に、如何ばかり人々は明朗な快味に浸ることであらう。

◇その嬉しい初夏の訪れと共に年毎ら心を傷ませるのは、折角の花木を手折りてはにべもなく街路に撒らし汚す、無心なる小さな惡君の仕業である。

◇〃草木を愛しませう〃この美しい心懸けを學校の校庭ばかりに限定してはいけない。元氣盛りの子供だからと云つて傍觀していてはいけない。教育は社會人としての道德を育成させるのが肝要である。

◇双手を擧げて贊成の大連綠化運動は先づ草木愛護運動から出發さるべきだ――そして一萬五千人の小學兒童はこの運動に於ける最も大きな役割を有つ。

大連市民へ　一市民

◇大連驛改築問題は商工會議所の發議により自然化せんとす、市會の決議による大連驛新築に關する意見書の價値如何。

◇意見書を提出する以上貫徹すべく熱と力とを要す、大に市長小川君を鞭撻されん事を切望す。會議所と協力邁進可なり、敢て功名を爭ふ必要なし。

◇大連市民の經濟的生活上權利擁護を目標とし、大にしては滿洲經濟の中心地として又日滿經濟統制上の仲繼地として交通機構の完成は焦眉の急を要する、敢て市會の努力を切望すると共に小川市長の奮起を求む。

野添理事上阪

【大阪特電一日發】動もすれば一部に粗製濫造品が出て權威ある大阪商品全體の信用を損ふものがちよいちよいあるので遠々お小言をいひに奉天商工會議所の野添理事が來阪、中ノ島公會堂で百五十名の業者を集め對滿貿易に關する懇親會を開催するが氏は語る

大阪商品の對滿輸出は昭和八年三億一千萬圓に達し六年の約五倍の素晴しい躍進ぶりであるが年末頃から粗惡品があるとの聲も少く例へばドアーの金具など打ちつけると壞れるものやはげ易い琺瑯などがあつて之に對する御注意や滿洲側の大阪商品に對する批判などを傳へると共に大阪側の意嚮も充分に聞く積り將來相互の諒解發展に [illegible]

[illegible]

交通部大臣

【安東特電一日發】交通部大臣丁鑑修氏は朝鮮郵船會社開業式參列と鴨綠江視察のため一日午後零時三十分 [illegible] 車で來安した

大觀小觀

生時既に神格を認められた東鄕元帥の靈も愈々東鄕神社として祀られる▲日支無電聯絡愈々一日から實施、例の通郵も近く實施されさう、何といつても兩國の無交通は實情が許さぬ▲我輸出貿易の發展、底無しの狀況、中にも中央アメリカに、昨年に比し二百七十六パーセントの輸出增加は物凄い▲列國如何に躍起になつて妨害しても、不自然な人爲阻止は到底駄目▲滿洲觀察の途次二、三日滯連、一日日本に歸つたインドの志士ボース氏、擬東學會や滿蒙社員俱樂部の座談會でその抱負を述べた▲曰く、カナダ、濠洲の如き英本國と親類筋の者でさへ、完全な自治を持ち、別個の外交機關を置いたりする、異民族異宗教のインド人が解放運動を爲すのに不思議はあるまい▲曰く、人の人たる所以は他人の爲めに動くにあり、國家も同樣、人間らしき文明は犧牲を尊ぶ亞細亞主義にあらねばならぬ▲曰く、人が使命を果すには健康を要す、國家も然り、他の壓迫下にありては健康的發育を爲す能はず、それでは人間としての使命を果す能はず、解放運動を爲す所以▲曰く、三億五千のインド人が不健康では、亞細亞主義の發達は望まれない、三億五千が健康を得て、亞細亞の幸福を期し得る▲但し武器を持たぬ民衆は飽くまで平和的運動で目的を貫ぬく見込みがある。

市況（一日）

株式　地株保合

新東日產強保合を入れ當市の日產六十錢高新東十錢高地場は保合であつた

特產　大豆強保合

後場の定期は大豆は南支筋買に強保合を呈し、豆粕は不申、豆油は閑散強保合、高粱は閑散保合を示した

錢鈔　鈔票軟調

上海標金高を入れ人氣弱く前場より六十五錢方下押し安値止めとなつた

商品　綿糸保合

綿糸　大阪三品後場寄小戻り引ボンヤリの結局保合を入れ當市は氣乘薄閑散

奧地市況

[illegible]

市場電報

大阪株式　東京株式　大阪期米　神戶期米　東京期米　大阪綿糸　橫濱生糸

[illegible]

御召列車に奉仕する光榮の鐵道部乘務員

嚴選に嚴選を重ねた結果 昨日滿鐵から發表

聖上陛下より御差遣の秩父宮殿下には愈々二日東京御出發渡滿の途に就かせられることゝなり御着連後の御日程も既に確定したので滿鐵では光榮ある御召列車の準備に萬々遺憾なきを期し林總裁自ら列車を檢分して粗漏なきやう戒めると共にそれぞれ係員を督勵しつゝあるが一方この光榮ある御召列車の乘務員についてもまた鐵道部をして過日來慎重に人選を進めしめ殊に實際に御召列車の運轉その他の業務に奉仕する乘務員卽ち機關士、專務車掌以下の選定については最も慎重なる詮衡を必要とするので各鐵道事務所に命じて技術、人格健康その他凡ゆる點に於て他の現業員の模範となるべき人物を嚴選また嚴選の上候補者として決定報告せしめ更に鐵道部に於いては右候補者につきそれぞれの身元調査並に身體檢査、過去の實績等を十分考査した結果遂に左の如く確定しこれを總務部に報告したので同部では一日午後三時總務部より正式に發表した

御召列車鐵道部乘務員

本部● 輸送課長 猪子一到 輸送課車輛係主任 七田顧 同課事務員 前饒禰八 工務課長 中村英城 營業課旅客係主任 小池文雄 同課事務員 木下富士太

大連鐵道事務所管内● 所長 江崎重吉 工務長 園田光雄 列車主務者 角田源太郎 機關車主務者 田崎義男 助役 瀬戸康雄 列車區長 齋藤廉治 旅客專務 西田治三 同（豫備） 原田敬亮 車掌 長島政雄 同 青木道夫 同（豫備） 芹澤菊次郎 同（同） 小袋美年 乘務荷物方 前島德重 乘務荷物方（豫備） 津村十太郎 列車給仕 大隈幸市 同 門橋英一 同 伊木清馬 同 富井勝治 同 増田義一 同（豫備） 相澤增太郎 同（豫備） 時崎昇 機關區長 藤野賢六 機關士 網本卓平 同 篠原重義 同（豫備） 崎岡重雄 機關方 高良武次 同 乾康雄 同（豫備） 澤村完一 修繕工長 瀬口清正 修繕方 小倉由一郎 機關區長 川西重作 機關士 辻本龜吉 同 岡野壽義 同（豫備） 宮崎竹次郎 機關方 深堀末男 同 郡山紀六 同（豫備） 上園不可思 檢車區長 種村吉衛 檢車助役 伊勢磯吉 檢車方 坂口榮五郎 同（豫備） 小川勝榮 電氣方 鈴木季吉 同（豫備） 伊部秀太郎 保線區長 池田來介 線路工長 野村文松 線路方 藤田正

奉天鐵道事務所管内● 所長 白井喜一 工務長 堀江元一 列車主務者 野田惠 同（豫備） 竹内節三 機關車主務者 加藤時次郎 同（豫備） 中馬正雄 列車區長 岩本圭之介 旅客專務 柴田安 同（豫備） 松本亮 電線方 渡邊左七 電氣助役 平井環 線路方 大穂九八郎 線路工長 石川庄松 保線區長 林惣太郎 線路方 稲益正藏 線路工長 馬場安太郎 保線區長 三宅善平 車掌 植田[illegible] 同（豫備） 石井[illegible] 列車給仕 菊地貞郎 同 北島[illegible] 同（豫備） 見五[illegible] 機關區長 吉浦[illegible] 同（豫備）運轉主任 宮川[illegible] 機關士 村田博 同 渡邊重三郎 同（豫備） 金谷[illegible] 機關方 小泉正雄 同 黒岩秀[illegible] 同（豫備） 余宮[illegible] 修繕方 多伊良[illegible] 同 吉田[illegible] 檢車區長 野元[illegible] 同（豫備） 中村[illegible] 檢車助役 沂田奥[illegible] 同（豫備） 山本直吉 【檢車方】 朝生銀次郎 同（豫備） 落合悌藏 保線區長 德永繁吉 線路工長 豐田小太郎 同（豫備） 大橋千次郎 線路方 岬嘉代作 同（豫備） 朝隈國治 保線區長 鈴木壯七 線路工長 土屋重季 線路方 檜川近作 同 保線區長 河村英夫 線路方 泉原四郎 同 松田貞義 保安區長 金澤武司 電線方 坪上辰次 同（豫備） 伊藤豐

新京鐵道事務所管内● 所長 芳賀千代太 工務長 松尾正二 工務係員（豫備） 山下熊五 列車係員 川畑豐治 同（豫備） 梅原光二 機關車係員 川崎定治郎 列車區長 大石義三郎 車掌 黒木繁 同（豫備） 坂井千一 運轉主任 佐野新作 機關區長（豫備） 長尾次郎 機關士 眞鍋菊藏 同 寺本義直 同（豫備） 旗島厚 機關方 小林保次郎 同 逆瀬川重則 同（豫備） 濱田勳 同（豫備） 服部龍雄 修繕工長 杉本賢一 同 若林常三郎 檢車區長 桂保雄 保線區長 大森規矩司 線路工長 泉佐十郎 同（豫備） 江藤傳之助 線路方 宮脇英二 同（豫備） 柴田善作 保線區長 山本慶作 線路工長 永田善太郎 同（豫備） 高山六之助 線路方 安部健三 保線助役 藤原一雄 線路工長 杉原[illegible] 線路方 小澤長次郎 同（豫備） 春成才藏 保安區長 羽根友治 電氣工長 立川宗一 同（豫備） 石塚繁藏

旅館事務所● 所長 大坪正 支配人 田中芬 同 福岡健治 同 丸野光吉 料理長 石田常吉 料理方 鈴木庄司 給仕長 佐藤忠吉 同 日高安吉 同 廣松定 給仕 塚村正市 同 小此木熊治郎 料理方 金子秋介 同 龜井涉二 同 阿部力 同 笠原初二 雜務方（滿人） 曹子森

光榮の乘務員（右上より）村田、篠原各機關士、西田專務車掌（左上より）網本、渡邊各機關士、大隈列車給仕の諸氏

光榮の各機關士と專務車掌略歷

御召列車乘務員中最も光榮ある各機關士、專務車掌は何れも永年滿鐵に勤務し技倆人格共現業員の模範とされてゐる人々のみであるが其の略歷は左の如くである

△西田治三氏（大連列車區專務車掌）大正七年十月奉天驛々務方として滿鐵に入社し十三年十月大連列車區車掌、昭和六年同專務車掌となる同九年四月十五年勤續表彰を受く、三十三歲（長崎縣生）

△柴田安氏（奉天列車區專務車掌）大正八年一月車掌見習として滿鐵に入社し八年三月車掌十四年旅客專務となる、昭和九年四月十五年勤續表彰を受く、四十歲（茨城縣生）

△網本卓平氏（大連機關區機關士）大正七年小使として滿鐵入社、八年六月機關夫、九年機關方心得、十四年十一月機關士となる昭和八年四月十五年勤續表彰を受く、三十二歲（廣島縣生）

△篠原重義氏（大連機關區機關士）大正八年五月機關夫として滿鐵に入社し十年機關方十四年十一月機關士となる、三十歲（鹿兒島縣生）

△辻本龜吉氏（大石橋機關區機關士）大正八年二月機關夫として滿鐵に入社し九年一月機關方、十年十一月機關士となる、昭和九年四月十五年勤續表彰を受く四十歲（長崎縣生）

△岡野壽義氏（大石橋機關區機關士）大正八年九月機關夫として滿鐵に入社し九年一月機關方、同十二月機關士となる、三十八歲（岡山縣生）

△渡邊重三郎氏（奉天機關區機關士）明治四十五年七月機關夫として滿鐵入社、大正四年機關助手八年十一月機關士となる、昭和三年十五年勤續表彰を受く、四十五歲（長崎縣生）

△村田博氏（奉天機關區機關士）大正七年六月機關夫として滿鐵に入社し九年一月機關方、十四年十一月機關士となる、昭和九年四月十五年勤續表彰を受く、三十四歲

△眞鍋菊藏氏（新京機關區機關士）明治四十四年四月撫順機關區に入社、大正四年四月機關助手、大正九年二月機關士、昭和八年八月新京機關區に轉任、昭和二年十五年勤續表彰を受く、三十九歲（門司市生）

△寺本義直氏（新京機關區機關士）明治四十四年十二月大連機關區に入社、大正四年四月機關助手大正十年九月機關士、大正十三年四月新京に轉任、昭和二年十五年勤續表彰を受け卅九歲（熊本縣生）

羽田鐵道部長談

御召列車鐵道部乘務員の選定を終つて滿鐵羽田鐵道部長は左の如く語る

御召列車の現場乘務員は何れも各鐵道事務所長が責任を持つて嚴選に嚴選を重ねて推薦して來た者である、これで運轉の陣容が整つたし、關東廳はじめ各關係方面との打合せも大體終了してゐるが、更に萬遺漏のなきを期するため御召列車運轉當日までに線路の補修等を更に嚴重に行ふ筈で謹んで宮殿下御來滿の日をお待ち申上げてゐます

光榮の三機關士 寺本氏は二回目奉仕

【新京特電一日發】光榮の機關士として眞鍋、寺本、旗島の三君は何れも數年前まで撫順機關區に在勤してゐた品行方正、精勵恪勤の模範的機關士で、申し合せた樣に三人共四人の子供のパパさんである、特に寺本君は昭和五年五月秩父宮殿下の第一回御渡滿の際光榮の乘務員として大任を果し、今回特に第二回の御渡滿に際し乘務員として選ばれ眞鍋、寺本兩君は御召列車に、旗島君は先驅車に乘務する事となつて居る、一日右三氏を宿泊所に訪へば何れも謹嚴な正し光榮の喜びを滿面に漂はして居たが眞鍋君は謹んで語る

思ひがけない光榮に只々恐懼感激して居る次第です、寺本君は二回目の光榮ですが私と旗島君は初めての事で大任を無事に奉仕出來れば家族と共にそればかり祈つて居ります

網本機關士談

光榮の網本機關士を市內二葉町の自宅に訪へば溫厚な顔に微笑を浮べながら語る

三十日に健康診斷を受けただけでまだ正式の通知には接してゐませんがいよいよ發表になりましたか、機關區長からお話があつた時から只身に餘る光榮に恐懼してゐる次第ですが、おうけした以上は神佛に祈つて萬全を期し無事大任を果したいと思つてゐます

なほ網本機關士について推薦者の藤野大連機關區長は語る

網本君は平素沈着、溫厚で成績も優秀な中堅機關士です、人物の點からも家庭の狀況からも申し分ないので百二十二名の中から推薦したわけです

寺本氏妻女談

【新京特電一日發】新京羽衣町三丁目の寺本機關士の留守宅を訪へばツネ子（?）夫人は遠に喜びの面持で語る

主人は明治四十三年滿鐵々嶺機關區に勤め大正十三年五月新京に參りました、來年で丁度二十五年になります、四年前も矢張り秩父宮殿下の御來滿の時も選ばれてお召列車に乘る光榮に浴しましたので今回も首尾よく大任を果して異れる樣に神かけて祈つて居ります

完全に責任を果したい一念 柴田專務車掌談

【奉天特電一日發】光榮の柴田專務車掌は謹んで語る

誠に生涯の光榮であります、光榮の反面にそれだけ責任を強く感じてゐます、大きな自信をもつて完全に責任を果したい心で一杯です

西田旅客專務 決意を語る

光榮の御召列車乘務員が發表された時旅客專務西田治三氏は丁度一八列車に乘務中であつたが午後四時四十分同列車の到着した大連驛ホームに同氏を訪へば

一生に一度の光榮ですから誠心誠意努力して無事任務を果したいと思ひます、今から健康にも注意し充分準備をとゝのへ微力ながら出來るだけの努力を捧げてこの國民としての無上の光榮に御酬いするつもりです

と述べ又齋藤大連列車區長は語る

西田君は勤務にも精勤だし態度も非常に上品で、殊に接客方面には特殊技能を有し物に動ぜぬ性質だから目上の人に對する場合同君程要領よくやれる人は他にありません

ベスト盡して 大隈列車給仕談

御召列車奉仕の光榮に浴する列車給仕の中、秩父宮殿下の御側近く奉仕する最も光榮ある列車給仕は大連鐵道事務所管内の大隈幸市君であるが、同君は先に閑院宮殿下御來滿の際も御召列車奉仕の光榮に浴して居り貴賓列車には必ず同君が乘務するといふ程の模範給仕である、一日午後御召列車の調度品準備に忙殺されてゐる同君を列車區長室に訪問すれば「別に感想といひましても……まあ私のことは區長さんに聞いて下さい」と謙遜してゐたがやつと口を開く

實は十八年間滿鐵に勤めて、多くの貴賓にも接しましたがこの度の樣な光榮は又とありませんので、ベストを盡して奉仕申上げることはいふまでもありません健康にも十分注意し齋戒沐浴、光榮の日を御待ちいたします

意氣な臨檢服

大連港が國際的な港であり對外的にも何とかせねばと云はれてゐた海務局、檢疫官、港務官の服裝は永年の希望が今日漸く通り、六月一日からスマートな臨檢服で入港諸艦船に挨拶を與へてゐる

滿蒙の護りに“猛犬聯隊”來る 獨逸から軍用犬廿五頭

非常時の第一線に立つ軍用犬の陣容整備の目的でさきに發會された滿洲軍用犬協會では犬の本場ドイツから素晴らしい種犬を購入する事となり同協會技師を特派して交渉中であつたが、三十一日入港松本丸で同氏附添ひのもとに二十五頭いづれも立派な犬舍に入れられ地中海からはるばる印度洋を越えて來滿した、關東軍軍用犬育成所附川瀬一等軍醫同協會幹事秋山大尉等と共に埠頭まで出迎へると既に元氣の好い犬の聲吠えて感激が好適きる位、船中馬場氏は語る

一月十五日松本丸で當地を出發したのでしたが流石に本場犬は育成所にしろ民間にしろ却々堂に入つた仕込み方、非常に參考になるものが多かつた、廿五頭の內譯は番犬十一頭、通信犬一頭、種犬四頭、警察犬四頭、傳令犬三頭その他は目下教育中のもので牡十二頭、牝十三頭中にもエッツエルと云ふ名の犬の如きは日本金一萬圓と云ふ代物である、若いので一歲二ケ月、三歲十ケ月が最年長である、あゝした長い航海に少しも弱らず目的通り滿洲迄持つて來れた事を喜んでゐる、あと二十五頭は來月頃豐橋丸で來る筈である

光榮の水先案内へ 來村琢磨氏重任に就く

秩父宮殿下御渡滿のみぎり大連港御來航の際光榮ある御召艦足柄の水先案内に就くこととなつた、同組合長來村琢磨氏が撰ばれてこの重任につく事となつた、來村氏は明治七年十二月佐賀縣唐津の生れ大連港にパイロット制度が確立した當時から實に全二十五年の水先人としての經驗を有し他面育英事業にも盡力、大連商業學校創立に努力しても同氏のかくれた力に負ふところが多い、市內櫻町の自宅に訪へば謹んで語る

全く光榮の至りです、私の永いパイロット生活の特筆すべき名譽だとつゝしんでお待ち申しあげる心組みです

秋木莊驛に匪賊 放火、掠奪、發砲…… 人質三名を拉致す

【奉天特電一日發】一日午前零時十分頃安奉線秋木莊驛に約百日系軍の率ゐる約六十名の匪賊が折柄進入して來た第三列車を襲はんとし滿人機關手に向つて發砲し、附近部落に放火、掠奪し人質三名を拉致、更に警官派出所を襲はんとしたので警察官はこれと應戰し交戰三十分にして匪賊は北方に遁走した、これがため第三列車は二十九分延着して午前六時奉天驛に到着した

秋木莊驛の匪襲は本年に入つて既に二回目で第三列車の一等車は幸に乘客なく被害はなかつたが窓硝子その他數ケ所に彈痕を殘し當時の有樣を物語つてゐる、急報に接し目下討伐隊出動中であるが秋木莊驛は安奉線當時匪賊の襲擊を受け驛長以下殉職したところである

馬力をかけ銃器を買收

【新京特電一日發】中央治安維持會では既に民間所持の銃器買收に着手以來今日まで多數の武器を買收したが、未だ各地において[illegible]の狀況にあるために、今後これを積極的に買收する事が國內治安工作上最も緊急なりとし、今回民政部當局では買收資金を各縣の借款名義で中銀より融通せしめ、買收した武器は政府より借用期間の利息を加へた額で買上げることになつた

謝文東 蘇聯遁入か

【ハルビン三十一日發國通】依蘭山の滿洲國軍に歸順を申込んだ謝文東は、興凱湖東方密蜂鎭方面より蘇聯領土に遁入した形跡があるが入露の上は目下ハバロフスクの李杜と密接な連絡をとり何等か畫策するに非ずやと注目されてゐる

王子彬歸順

【新京特電一日發】謝文東匪と協力猛威を振つてゐた匪首王子彬は部下二百名を率ゐ五月二十日太平泉縣警察署長に歸順を申込んで來た

奉天の上下水と道路工事 急速に着手 人口激增から豫算廿萬圓で 增設と新設の計畫

奉天における總局社宅その他の激增に伴ひ人口は本年度に入つて著るしく增加し、上下水道施設の不足を來したので滿鐵地方部ではこれが增設費と道路新設費を兼ねて追加豫算二十萬圓を計上申請中のところこの程重役會の承認を得たので地方部施設係において直ちに設計に着手した、追加豫算不承認の觀ある本年度において二十萬圓の追加豫算を承認されたことは寧ろ著るしい人口增加に餘儀なくされたもので新計畫は競馬場以南の附屬地境界まで水道を施設し道路を建設するもので工事は本月中旬より着手結氷期までに完成の豫定

大會派遣選手 神戸に歸着解散

【神戸一日發國通】極東オリムピック派遣の我選手一行は郵船平洋丸で一日午後一時半神戸港に歸着一同は秩父宮殿下御下賜の日章旗を捧じた佐藤選手を先頭に隊伍を整へて棧橋から商工會議所に約五丁の間を行進同所の歡迎會に臨んだ、文相代理として山川體育課長の歡迎の辭があつて解散式を行ひ平沼團長より選手一同の勞を謝し萬歲を三唱、三時半散會した

國際女子オリムピック 選手鹿島立つ

【神戸三十一日發國通】ロンドンの第四回國際女子オリムピック大會に遠征する我が代表選手高保昌子嬢はじめ牧野、山本、渡邊、中村、高尾、平島、乾、井戸田九嬢は監督南部忠平氏等に引率され緋色の純白なブレザーコートに身を固め必勝の意氣高らかに郵船白山丸に乘込み先輩知己の歡呼裡に午後三時一路歐洲に向け鹿島立つた

忠靈塔建設基金（本社寄託） 寄附者芳名（五月卅一日夕此の分）

▲金十二圓也 復州粘業株式會社社員有志
▲金十圓也 滿洲製紙職工所鍋島治
▲金十圓也 小住善藏
▲金五圓也 稲島輝雄
▲金二圓也 蓋平城內青木正吾
▲金一圓也 辻吉比古
計 四十圓也
累計一萬四千二百五十九圓三十四錢也
訂正 五月三十一日附朝刊發表金二圓也滿州子以下二十四名は金一圓也の誤りに付訂正、同じく金五圓也連鎖商店街藤井正[illegible]殿に

去る二十八日上海を出帆した大連汽船の青島丸が沙埕山島沖を通過せんとする際、思ひがけなくも十數頭の鯨の大群に遭遇した。

……◇……

この鯨群はあたかもネス湖の怪物の如く文字通り鯨波を立てゝ進んで居るので乘客達は物珍しげにこれを眺めて居ると、鯨群は何を思つてか急旋回をして青島丸に向ひ殺到して來た、そして「アレヨ〳〵」と叫ぶ間に船を中心に包圍攻擊の形となり、遂に怖しくも黃海上いさゝか壯觀な一大海戰が展開（?）された。

……◇……

そのうち一頭の鯨が船尾に近づくと見るや呀ッと思ふ間に推進機に捲き込まれたので、船はショックをうけ、鯨は肉を裂かれて悽慘たる光景を呈し、四邊一面はこれまた文字通り血の海と化した。

……◇……

幸ひにも船體には何等の損傷なくそのまゝ航行を續けたが船員の一人首を傾けて曰く「然うだ昨日は海軍記念日だつたよ、サテは彼奴等、日本海に擊滅されたバルチック艦隊の怨靈だな、あ」に乘り合せた一同を見合せて思はずブル〳〵。